

福岡県大野城市における新型コロナウイルス後の医療システム および働き方のあり方について（調査結果）

浅川 哲郎

キーワード

- ◆新型コロナウイルス感染症
- ◆大野城市
- ◆医療システム
- ◆働き方
- ◆生活の満足度
- ◆かかりつけ医

概要

- 福岡都市圏のベッドタウンである大野城市において新型コロナウイルス流行後にどのように働き方を変化させたか、またコロナ禍の中で医療情報をどのように入手したか、を調査した。調査票500通を配布し225件の回収を得ている（回収率45.0%）。
- 「全般的な生活の満足度」はコロナ禍の前と後を比較しどのように変化したか、という総論的な質問に対しては、「変わらない。」が48.0%で最も多く、次に「満足度は低くなった。」が36.4%、等と続いている。年齢層から分析すると育児もしくは介護等で家族の世話が必要な「40～49歳」および「50～59歳」の層では「満足度は低くなった。」が「変わらない。」を上回っている。
- コロナ禍の中において医療情報の提供は十分であったか、という質問に対しては「十分であった。」が51.1%で「十分ではなかった。」が46.2%であった。インターネット等、情報入手の選択肢を多く持つ「29歳以下」や「30～39歳」の層では「十分であった。」と答えた者が「十分ではなかった。」と答えた者よりも30%程度多かった。また医療情報の入手手段としては、「テレビや新聞などの大手マスコミ」が最も多く、「厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報」、「家族など身近な人」と続いた。
- 「かかりつけ医」はいるか、という質問に対しては、「いる。」と答えた者が64.9%で、「いないがいるとよいと思う。」が19.1%、「いない。」が15.1%と続いた。この部分の調査は日医総研の調査を参考にしているが、大野城市の場合、日医総研の調査よりも「いる。」と答えた者が10%程度高い結果となっている。また「60～69歳」以上の層は大野城市では、日医総研の調査より高くなっている。逆に「40～49歳」の層以下では大野城市の値が日医総研の調査を下回っており、今後の医療施策の重点対象はこの層になるだろう。
- コロナ禍によって「働き方」そのものは変わったか、という質問に対しては、「変

変わった。」と回答したものが86件、「変わらない。」と回答したものが115件で、4割程度のものが「変わった。」と回答している。特に「40～49歳」の層は「変わった。」と回答したもののほうが多かった。また、これからの勤務場所については、「自宅および自宅周辺。」と回答したものが174件と圧倒的に多かった。

● 「働き甲斐」についての質問に対しては「変わらない。」が175件で、「変わった。」が32件であった。変化の項目は「より家族のことを重視するようになった。」が25件で最も多くかった。また女性の方が、「変わった。」と答えるものの割合は上昇している。

I. はじめに

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、医療システムや働き方も新しい展開になると予想される。医療システムに関して5類後は特別対応をやめ、通常医療への移行に踏み出すことになり、検査等自己負担部分が増加することになる。また働き方に関してもオフィス出社回帰が指摘されるが、ひとつの働き方として定着してきたテレワークを採用し続ける際の工夫についても検討されることになるだろう。

九州産業大学商学部 浅川哲郎研究室では、「新しい福祉社会」のあり方を念頭に、「新型コロナウイルス後の働き方および医療システムのあり方」について調査・研究している。ここで「新しい福祉社会」とは「適正な情報開示により、自立した個人が健康に自己実現できる社会」と定義している。この概念の下では問題解決の上でネットワーク型の組織および情報公開のあり方に解答を求める点に特徴があると考えている。今回、調査のフィールドとして取り上げた大野城市は福岡都市圏のベッドタウンであり、大野城市常住者の通勤、通学先は主に福岡市で、福岡市への通勤・通学者は人口の約4割を占め、対して、市内の通勤・通学者は約3割に留まっている。このような環境にある大野城市民が新型コロナウイルス流行後にどのように働き方を変化させたか、またコロナ禍の中で医療情報をどのように入手したか、を調査することは他の同様なベッドタウンの都市の福祉システムの構築にも寄与するものと思料した。調査した結果を下記の通り報告する。

II. 調査方法

令和5年6月から8月にかけて添付の調査票500通を、大野城市内の公民館、大野城商

工会、大野城市に本社がある企業等に個別に依頼した。またマンション等にポスティングし調査への協力を呼び掛けている。結果として225件の回収を得ている（回収率45.0%）。また「コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場」についても分析を行っているが、高齢者の場合は、就労していない場合があり、回収総数としては少なくなっている。勤務地の所在地は大野城市内が154件、福岡市内が31件、筑紫地区（大野城市以外）が5件、その他が13件であった（合計203件）。

また男女別の統計も作成、分析している。男性の回答者は121件（53.8%）、女性の回答者は103件（45.8%）であった。更に既婚者は189件（84.0%）、未婚者は36件（16.0%）である。

今回、調査票を依頼するに際して配慮したのは4つの地区のバランスである。大野城市は市全体を、南地区（牛頸、南ヶ丘1区、南ヶ丘2区、平野台、月の浦、つつじヶ丘、若草）、中央地区（上大利、下大利、白木原、瓦田、下大利団地、東大利、中大利）、東地区（釜蓋、井の口、中、乙金、乙金台、大池、乙金東）、そして北地区（上筒井、下筒井、山田、雑餉隈町、栄町、仲島、畑詰）という4つの地区に分けている。そして4つの地区コミュニティそれぞれには、区や地域で活動する市民団体などが幅広く参加する「コミュニティ運営協議会」という組織が設置され、地区内のネットワークをつくり、コミュニティ活動の取りまとめ役として運営にあたっている。この組織は効果的に運営されているように拝見するが、バランス良く回収できるように留意した。結果的には中心地である中央地区が92件（40.9%）、住宅地である南地区が52件（23.1%）、東地区が48件（21.3%）、商工地域を含む北地区が29件（12.9%）となった。

Ⅲ. 調査結果：全体（資料1参照）

1. 一般的な生活の満足度

「【全員】 コロナ禍の前と後を比較して『一般的な生活の満足度』はどのように変化しましたか？」という総論的な質問に対しては、「③ 変わらない。」が108件（48.0%）で最も多く、次に「④ 満足度は低くなった。」が82件（36.4%）、「② 満足度は高まった。」22件（9.8%）、「⑤ 満足度は著しく低くなった。」10件（4.4%）、「① 満足度は著しく高まった。」3件（1.3%）と続いている。

年齢層から分析すると「40～49歳」および「50～59歳」の層では「④ 満足度は低くなった。」が「③ 変わらない。」を上回っている。これはその二つの層では育児もしくは介護

等で家族の世話が必要でコロナ禍の環境の中、新たな作業や心配が加わるなどして生活の満足度が低くなったと考えられる。逆に「29歳以下」の層では「① 満足度は著しく高まった。」と回答した者が2件（22.2%）おり、若年層においてはコロナ禍において用いられたテレワーク等の新たな手法に対応できたものは満足の度合いも高くなったという事であろう¹。

2. 医療情報の入手方法

市民の医療サービスの需要者としての立場に対して「【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか?」という質問に対しては「① 十分であった。」が115件（51.1%）で「② 十分ではなかった。」が104件（46.2%）であった。「29歳以下」や「30～39歳」の層では「① 十分であった。」と答えた者が「② 十分ではなかった。」と答えた者よりも30%程度多かった。この理由として若年層はインターネット等、情報入手の選択肢を多く持つことが理由として考えられる。また「50～59歳」の層では「② 十分ではなかった。」と答えた者が「① 十分であった。」と答えた者よりも多かった。

上記「コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか?」という質問に対して「② 十分ではなかった。」と答えた者に、「何の情報が必要でしたか?（複数回答可）」と聞いたところ、「② 受け入れ可能な医療機関。」が84件で、「③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。」が36件と続いた。この傾向は年代によって大差はなかった。

「【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか?（複数回答可）」という質問に対しては、「① テレビや新聞などの大手マスコミ。」が最も多く157件（69.8%）で、「② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。」が74件（32.9%）、「④ 家族など身近な人。」が60件（26.7%）と続いた。この傾向は年代によって大差はなかった。

3. 「かかりつけ医」に関する意識

新型コロナウイルス禍で、発熱時に診察を受けられない事態が相次いだことがあり、厚生労働省は令和5年10月にも新たな有識者会議をつくり「かかりつけ医」制度の詳細な議論を始めるとしている²。「【全員】 「かかりつけ医」はいますか?」という質問に対しては、

¹ 生活の満足度に関する調査については内閣府で行っている。2023年の報告書については次のホームページを参照。
<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/manzoku/pdf/report07.pdf>

² 令和5年9月27日付「日本経済新聞」5頁。

「① いる。」と答えた者が146件 (64.9%) で、「② いないがいるとよいと思う。」が43件 (19.1%)、「③ いない。」が34件 (15.1%) と続いた。

本調査における「かかりつけ医」に関する部分は、日本医師会総合政策研究機構（以下「日医総研」と略す）のワーキングペーパーを参考に実施しているが「日本の医療に関する意識調査：2022年臨時中間調査³」によると、かかりつけ医がいると回答した人は全体の55.7%であったので、大野城市の場合、日医総研の調査よりも10%程度高い結果となっている。年齢層別に分析すると「かかりつけ医」が「① いる。」と回答したものが「60～69歳」の層で日医総研の調査では64.5%に対し大野城市では84.9%、「70歳以上」の層では日医総研の調査では76.5%に対し大野城市では87.0%と、大野城市の値が高くなっている。逆に「40～49歳」の層以下では大野城市の値が日医総研の調査を下回っており、今後の医療施策の重点対象はこの層になるのかもしれない。

上記【**全員**】「かかりつけ医」はいますか?」の質問に「① いる。」と答えた者に対して「あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか? 次の中からあてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては「⑤ 住まいや職場の近所。」という回答が最も多く91件で、「① 身近で何でも相談できる。」が69件、「⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。」が55件、「③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。」が49件と続いている。「日医総研」の調査では「① 身近で何でも相談できる。」が54.7%で最も多く、「⑤ 住まいや職場の近所。」の54.5%と拮抗している。その後「⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。」が30.1%、「③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。」が29.1%と続いている⁴。

上記【**全員**】「かかりつけ医」はいますか?」の質問に「① いる。」と答えた者に対して「そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか? あてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては、「① 内科」が圧倒的に多く131件で、続いては「③ 整形外科」と「⑤ 眼科」が同数で13件であった。この順位は「日医総研」の調査でも同様であった⁵。

【**全員**】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えくださ

³ 日医総研「日本の医療に関する意識調査：2022年臨時中間調査」、2022年5月24日。

https://www.jmari.med.or.jp/wp-content/uploads/2022/07/WP466_1.pdf を令和5年10月5日に閲覧。なお「かかりつけ医」に関する定義も同調査に依っている。

⁴ 日医総研 (2022) 22頁。

⁵ 日医総研 (2022) 21頁。

い。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か?」という質問に対して「② かかりつけ医が得意としている治療分野」を「必要だ」とした回答が最も多くて142件 (63.1%)、次に「⑤ 連携している医療機関」が123件 (54.7%)、「① かかりつけ医の診療実績」の116件 (51.6%) と続いている (表参照)。この順位は「日医総研」の調査でも同様であった⁶。

表 かかりつけ医を探す際に必要な情報

	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
①かかりつけ医の診療実績	116	51.6%	70	31.1%	17	7.6%
②かかりつけ医が得意としている治療分野	142	63.1%	56	24.9%	5	2.2%
③かかりつけ医としてのキャリアや教育	82	36.4%	95	42.2%	24	10.7%
④夜間休日の対応	69	30.7%	80	35.6%	49	21.8%
⑤連携している医療機関	123	54.7%	63	28.0%	13	5.8%
⑥在宅医療 (訪問診療・往診) の実施	39	17.3%	82	36.4%	79	35.1%
⑦患者や利用者からの評価	102	45.3%	81	36.0%	19	8.4%

かかりつけ医に関する情報量の充足度を聞いた「【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか?次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては「② まあ足りている」と回答したものが113件 (50.2%) で最も多く、「③ やや不足している」が50件 (22.2%)、「④ 不足している」が35件 (15.6%)、「① 足りている」が18件 (8.0%) と続いている。「日医総研」の調査では、「② まあ足りている」(36.7%) と「③ やや不足している」(22.0%) の順位は同じであるが、「④ 不足している」(14.8%) と「① 足りている」(18.1%) と回答しているものの順位が逆転している⁷。

かかりつけ医を持つために役立つ情報源を聞いた「【全員】 健康なときからかかりつけ医を持っておくために、何があると良いと思いますか?あてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては「① 自治体からの医療機関情報 (広報誌やパンフレットなど)」が109件 (48.4%) で最も多く、「② 自治体からの医療機関情報 (自治体のホームページ上)」が90件 (40.0%)、「③ 地域の医師会からの医療機関情報 (パンフレットなど)」が58件 (25.8%)、「④ 地域の医師会からの医療機関情報 (医師会のホームページ上)」が53件 (23.6%)、「⑤ 地域の医師の話を書く場や講演会など。」が41件 (18.2%) と続いている。この順位は「日医総研」の調査でも同様であった⁸。

⁶ 日医総研 (2022) 27頁。

⁷ 日医総研 (2022) 26頁。

⁸ 日医総研 (2022) 28頁。

ただし「29歳以下」の層では「④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）」が「② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）」や「③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）」を上回り、また「70歳以上」では「⑤ 地域の医師の話を書く場や講演会など。」が「④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）」を上回るなど年齢層ごとに特徴があることが興味深い。

「【全員】あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。」という質問に対しては「③ 専門医又は専門医療機関への紹介。」が135件（60.0%）で最も多く「① どんな病気でもまずは診療できること。」が134件（59.6%）、「⑪ 患者に寄り添う親身な対応。」が130件（57.8%）、「② あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと。」が122件（54.2%）と続いている。「日医総研」の調査では上位4つの項目は同じであったら順位は「① どんな病気でもまずは診療できること。」が一位で「③ 専門医又は専門医療機関への紹介.」、 「② あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと.」、 「⑪ 患者に寄り添う親身な対応。」と続いている⁹。

年齢層で見ると「50～59歳」の層以下は「⑪ 患者に寄り添う親身な対応。」を一位にしていることが興味深い。

4. オンライン診療

オンライン診療についてはコロナ禍の中、注目され令和4年診療報酬改定では新たな診療の形として推進されている。しかし「【全員】オンライン診療についてお尋ねします。」という質問に対しては「① 受診したことがある。」と答えたものが2件（0.9%）であった。ただし「② 受診したことはないが知っている。」が182件（80.9%）、 「③ 知らない。」は37件（16.4%）でオンライン診療に対する認知度は高まっているという事はできる。

また「【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。」という質問に対しては「② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたるため電話やオンラインを活用できるとよい。」が123件（54.7%）で最も多く、「⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。」が87件（38.7%）、 「③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。」と「⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。」とが81件（36.0%）の同数、「④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。」が80件（35.6%）、 「⑥ 医師の説明や対応が更に分

⁹ 日医総研（2022）30頁。

かり易く柔軟になるとよい。」が77件（34.2%）と続いている。

本調査における「オンライン診療」に関する部分は、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社（以下「デロイト」と略す）が2020年に実施したアンケート調査¹⁰を参考に実施しているが、同調査では「② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたるため電話やオンラインを活用できるとよい。」が最も多く（17%）、「① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。」

（16%）、「③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がる」とよい。」（8%）、「⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。」（6%）と続いている。

「デロイト」の調査は2020年8月という新型コロナウイルス感染症によるパンデミック（世界的な大流行）の初期の段階に行ったものである。これに対して本調査は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した後に実施したので、より落ち着いた状態で「オンライン診療」を比較的客観的に評価したものと言えるであろう。

5. コロナ後の働き方の変化

上記の医療に関する調査は医療サービスの需要者としての立場によるが、コロナ後の働き方の変化、つまり労働・サービスの供給者としての立場に関しても分析していきたい。なお、既述の通り就労者の数は合計で203件であった。

① 働き方の変化

「【全員】 コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？」という質問に対しては、「① 変わった。」と回答したものが86件、「② 変わらない。」と回答したものが115件で、4割程度のものが「① 変わった。」と回答している。特に「40～49歳」の層は「① 変わった。」と回答したもののほうが多かった。

「『① 変わった』とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）」という質問に対しては、「② マスクの常用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。」と回答したものが最も多く75件で、「① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。」が33件、「③ 勤務先の執務場所のレイアウト等に変化があった。」が32件と続いている。

¹⁰ デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社「コロナ禍での国内医療機関への通院状況・オンライン診療の活用状況」、2020年8月17日。<https://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/jp/Documents/about-deloitte/news-releases/jp-nr-nr20200817-survey.pdf> を令和5年10月5日に閲覧。なお同調査のパーセンテージは回答総数に対してであって回収人数に対してのパーセンテージである本調査とは比較はできないことに留意されたい。

また「【全員】 これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては「① 自宅および自宅周辺。」と回答したものが174件と圧倒的に多かった。次に多かったのは「③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。」の13件である。この結果により今後の行政の課題が大野城市内の就労環境の整備であることが指摘できる。

② 仕事の満足度

「【全員】 コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？」という質問に対しては「③ 変わらない。」が154件で最も多く、「② 低くなった。」が36件、「① 高まった。」が15件であった。「② 低くなった。」が、「① 高まった。」を倍以上、上回っている。

「『① 高まった』とお答えの方は、高まった要因は何ですか？」という質問に対しては「② 不必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。」が9件で最も多く、「③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。」が7件であった。業務の効率性の向上による満足度の高まりを指摘するものが多いと言える。

また「『② 低くなった』とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？」という質問に対しては「② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。」が21件で最も多く、「④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。」が14件、「① コロナ禍が原因で収入が低くなった。」が9件と続いている。急な遠隔勤務等で新しい機器になれていない状況が伺える。また感染の恐怖や収入減等で「仕事の満足度」が低くなったことも理解できる。

③ 働き甲斐

上記の「仕事の満足度」は過去の達成に対する感情を示すが、将来に向かっての気持ちである「働き甲斐」について尋ねた「【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？」という質問に対しては「③ 変わらない。」が175件で、「① 変わった。」が32件であった。「『① 変わった』とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）」という質問に対しては「② より家族のことを重視するようになった。」が25件で最も多く、「③ より地域のことを重視するようになった。」が18件、「① より自分自身のことを重視するようになった。」が15件、「⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。」が12件と続いている。上記の勤務場所の選択で「自宅および自宅周辺」を選ぶものが圧倒的に多かったが、より身近な存在にモチベーションを見つける傾向を伺える。

④ 今後に仕事を行う上で必要なこと

「【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）」という質問に対しては「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が90件と最も多く、「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が77件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が69件で続いている。上記の仕事の満足度においても職場の上司や顧客とのコミュニケーションに言及しているが、今後のテレワーク等を実行する際には機器の習熟等によりコミュニケーションを円滑に図る努力を行う必要性が挙げられている。また身近に業務を遂行できる設備を必要とするのは勤務場所に「自宅および自宅周辺。」を好む傾向に合致している。加えて専門的な知識を習得する学習システムを必要と考えるのは、テレワークが進む中で専門的な知識があった方が高い仕事の満足度を得ることができると考えたのであろう。法律や会計、IT技術などの専門知識があった方がテレワークの際に効率的に業務を遂行できるということには納得がいくことである。

Ⅳ. 調査結果：男女別（資料2～資料3参照）

本調査では男女別の統計も分析している。主要な項目について検討しておこう。

1. 全般的な生活の満足度

「【全員】 コロナ禍の前と後を比較して『全般的な生活の満足度』はどのように変化しましたか？」という総論的な質問に対して、男性で「③ 変わらない。」が70件（57.9%）、「④ 満足度は低くなった。」が36件（29.8%）であったのに対し、女性で「③ 変わらない。」が38件（36.9%）、「④ 満足度は低くなった。」が45件（43.7%）と「全般的な生活の満足度」に関しては女性の方が低い傾向が明らかになっている。

2. 医療情報の入手方法

「【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？」という質問に対しては、男性で「① 十分であった。」が66件（54.4%）で「② 十分ではなかった。」が51件（42.1%）であったのに対し、女性で「① 十分であった。」が48件（46.6%）で「② 十分ではなかった。」が53件（51.5%）と男性は医療情報の提供が十分であったと答えた

ものが半数以上であったが、女性はその数は半数以下であった。

3. 「かかりつけ医」に関する意識

【全員】「かかりつけ医」はいますか? という質問に対しては、男性で「① いる。」と答えた者が77件 (63.6%) であったのに対し、女性が69件 (67.0%) でほぼ同じであった。また【全員】「かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか? 次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては男性で「① 足りている」が11件 (9.1%)、「② まあ足りている」が60件 (49.6%) で肯定的に評価しているものが58.7%であったのに対し、女性で「① 足りている」が7件 (6.8%)、「② まあ足りている」が53件 (51.5%) で肯定的に評価しているものが58.3%とこれもほぼ同じであった。

4. オンライン診療

【全員】オンライン診療についてお尋ねします。という質問に対しては、男性で「① 受診したことがある。」と答えたものが0件 (0.0%)、「② 受診したことはないが知っている。」が95件 (78.5%) であったのに対し、女性で「① 受診したことがある。」と答えたものが2件 (1.9%)、「② 受診したことはないが知っている。」が87件 (84.5%) であり、ほぼ同じ傾向と言える。

5. コロナ後の働き方の変化

① 働き方の変化

【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか? という質問に対しては、男性で「① 変わった。」と回答したものが48件、「② 変わらない。」と回答したものが62件であった。女性で「① 変わった。」と回答したものが38件、「② 変わらない。」と回答したものが52件でありほぼ同じ傾向と言える。

② 仕事の満足度

【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか? という質問に対しては、男性で「③ 変わらない。」が最も多く85件、「② 低くなった。」が15件、「① 高まった。」が12件と続いている。女性でも「③ 変わらない。」が最も多く78件、「② 低くなった。」が24件、「① 高まった。」が6件と男性と比較して「② 低くなった。」の割合が高くなっている。

③ 働き甲斐

「【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか?」という質問に対しては、男性で「② 変わらない」が多く99件、「① 変わった。」が15件であった。女性では「② 変わらない」が87件、「① 変わった。」が21件で、「① 変わった。」の割合は上昇している。「① 変わった。」と回答した女性に対して「何が変わりましたか?」の問いに対しては、「② より家族のことを重視するようになった。」が16件、「① より自分自身のことを重視するようになった。」が12件と、より内向きの姿勢になっていることがわかる。

④ 今後に仕事を行う上で必要なこと

「【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか? (複数回答可)」という質問に対しては、男性で「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が最も多く45件、「③ 身近に利用できる事務所のよう設備。」が43件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が40件と続いている。女性では「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が53件、「③ 身近に利用できる事務所のよう設備。」が39件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が32件と順位は同じであるが、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」の割合が高くなっている。

V. 調査結果：地区別 (資料4～資料7参照)

既述の通り大野城市は市全体を、南地区、中央地区、東地区、そして北地区という4つの地区に分けている。地区ごとの特徴を検討しておこう。

1. 一般的な生活の満足度

「【全員】 コロナ禍の前と後を比較して『一般的な生活の満足度』はどのように変化しましたか?」という総論的な質問に対して、4つの地区で「③ 変わらない。」が最も多かったが、3つの地区が40%台の中、特に東地区が25件(52.1%)で最も多かった。また、2番目は4つの地区とも「④ 満足度は低くなった。」であったが、3つの地区が30%台の中、北地区が12件(41.4%)と特に多かった。

2. 医療情報の入手方法

「【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか?」という質問に対しては、南地区のみが「① 十分であった。」が23件 (44.2%) で「② 十分ではなかった。」の27件 (51.9%) を下回った。その他の3地区は「① 十分であった。」が「② 十分ではなかった。」を上回っている。

3. 「かかりつけ医」に関する意識

「【全員】 「かかりつけ医」はいますか?」という質問に対しては、「① いる。」と答えた者は南地区が最も多く38件 (73.1%)、東地区の32件 (66.7%)、北地区の18件 (62.1%)、中央地区の56件 (60.9%) と続いている。また「【全員】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか? 次の中から1つだけお答えください。」という質問に対しては南地区で「① 足りている」が3件 (5.8%)、「② まあ足りている」が31件 (59.6%) で肯定的に評価しているものが65.4%、中央地区で「① 足りている」が7件 (7.6%)、「② まあ足りている」が44件 (47.8%) で肯定的に評価しているものが55.4%、東地区で「① 足りている」が3件 (6.3%)、「② まあ足りている」が27件 (56.3%) で肯定的に評価しているものが62.6%、北地区で「① 足りている」が5件 (17.2%)、「② まあ足りている」が11件 (37.9%) で肯定的に評価しているものが55.1%であった。

4. オンライン診療

「【全員】 オンライン診療についてお尋ねします。」という質問に対しては、「① 受診したことがある。」と答えたものが南地区と中央地区が1件ずつで、「② 受診したことはないが知っている。」が南地区で44件 (84.6%)、中央地区で73件 (79.3%)、東地区で41件 (85.4%)、北地区で22件 (75.9%) であった。オンライン診療の認知度は南地区と東地区で高いと言える。

5. コロナ後の働き方の変化

① 働き方の変化

「【全員】 コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか?」という質問に対しては、北地区のみが「① 変わった。」と回答したものが15件、「② 変わらない。」と回答したものが12件で、「① 変わった。」と回答したものが多かった。その他の地区は「② 変わらない。」と回答したもののほうが多かった。

② 仕事の満足度

「【全員】 コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか?」という質問に対しては、全ての地区で「③ 変わらない。」が最も多く、「② 低くなった。」「① 高まった。」の順である。ただし北地区が「③ 変わらない。」が19件、「② 低くなった。」が6件、「① 高まった。」が2件と他の地区と比較して「② 低くなった。」の割合が高くなっている。

③ 働き甲斐

「【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか?」という質問に対しては、全ての地区で「② 変わらない」が多く、「① 変わった。」の5倍程度多かった。

④ 今後に仕事を行う上で必要なこと

「【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか? (複数回答可)」という質問に対しては、各地区での回答が分かれている。南地区では「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が最も多く20件、「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が19件、「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が17件と続いている。中央地区では「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が42件、「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」と「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が同じ32件である。東地区では「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」が最も多い18件であるが、次に「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」の16件、「① 業務の間にリラックスできる公園などの施設。」の11件と続いている。北地区では「③ 身近に利用できる事務所のような設備。」が最も多く12件、「④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。」と「⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。」が同じ9件である。

VI. 調査結果：5類移行後の医療システムおよび働き方の変化について

(資料8参照)

「【全員】 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した後に、医療サービスの受け方および働き方を変える予定がありましたら、どのように変えるかお書きください。」という質問に対しては、33件の記述が寄せられている。

この質問に対しては性別に分析すると興味深く感じられた。男性の記述では、医療関係

(①、②等)、働き方関係(③、④等)やマイナンバーカードに関する事など一般の生活関係(⑬、⑳等)等、記述が分かれたが、女性の記述16件の内、ほとんどが医療に関する事である。コロナ禍を通じて女性の関心が医療に関する事に集中し、このことが「全般的な生活の満足度」等に影響していると指摘できる。

(資料1) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：総計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	9	名	18	名	27	名	49	名	53	名	69	名	225	名
① 南地区	1	11.1%	3	16.7%	2	7.4%	12	24.5%	19	35.8%	15	21.7%	52	23.1%
② 中央地区	6	66.7%	9	50.0%	11	40.7%	20	40.8%	19	35.8%	27	39.1%	92	40.9%
③ 東地区	2	22.2%	3	16.7%	10	37.0%	9	18.4%	9	17.0%	15	21.7%	48	21.3%
④ 北地区	0	0.0%	2	11.1%	2	7.4%	7	14.3%	6	11.3%	12	17.4%	29	12.9%

※は全て上記の回収人数に対してのものである。

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	3	33.3%	11	61.1%	15	55.6%	16	32.7%	28	52.8%	48	69.6%	121	53.8%
② 女性	5	55.6%	7	38.9%	12	44.4%	33	67.3%	25	47.2%	21	30.4%	103	45.8%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	0	0.0%	10	55.6%	22	81.5%	41	83.7%	47	88.7%	69	100.0%	189	84.0%
② 未婚	9	100.0%	8	44.4%	5	18.5%	8	16.3%	6	11.3%	0	0.0%	36	16.0%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正規雇用 (労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	0	0.0%	13	72.2%	12	44.4%	12	24.5%	4	7.5%	2	2.9%	43	19.1%
② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	2	22.2%	3	16.7%	5	18.5%	13	26.5%	16	30.2%	12	17.4%	51	22.7%
③ 会社などの役員	1	11.1%	0	0.0%	4	14.8%	4	8.2%	6	11.3%	1	1.4%	16	7.1%
④ 自営業	0	0.0%	1	5.6%	3	11.1%	11	22.4%	3	5.7%	6	8.7%	24	10.7%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生 (高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.2%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	7	14.3%	8	15.1%	27	39.1%	43	19.1%
⑧ その他 ()	1	11.1%	1	5.6%	2	7.4%	2	4.1%	16	30.2%	19	27.5%	41	18.2%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	2	22.2%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%
② 満足度は高まった。	0	0.0%	1	5.6%	3	11.1%	7	14.3%	5	9.4%	6	8.7%	22	9.8%
③ 変わらない。	6	66.7%	12	66.7%	10	37.0%	19	38.8%	24	45.3%	37	53.6%	108	48.0%
④ 満足度は低くなった。	1	11.1%	4	22.2%	12	44.4%	20	40.8%	23	43.4%	22	31.9%	82	36.4%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	1	5.6%	1	3.7%	3	6.1%	1	1.9%	4	5.8%	10	4.4%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計		
	9	名	12	名	13	名	22	名	26	名	31	名	69	名	225

【1. 医療情報の入手方法：医療カービスの需要者としての立場】

1. 【全員】 コロナ禍において医療情報の提供は十分と感じましたか？

① 十分であった。	6	66.7%	12	66.7%	13	48.1%	22	44.9%	26	49.1%	36	52.2%	115	51.1%
② 十分ではなかった。 → 下記2. にお進みください。	3	33.3%	6	33.3%	13	48.1%	26	53.1%	25	47.2%	31	44.9%	104	46.2%

2. 上記1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？ (複数回答可)

① 感染者数の推移。	0		1		0		2		1		6		10
② 受け入れ可能な医療機関。	1		2		9		20		22		30		84
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	1		3		2		7		12		11		36
④ 感染を防ぐための手段。	0		2		2		4		4		10		22
⑤ その他 (1		1		3		4		1		1		11

3. 【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートの利用が多かったですか？ (複数回答可)

① テレビや新聞などの大手マスコミ。	7	77.8%	12	66.7%	15	55.6%	28	57.1%	42	79.2%	53	76.8%	157	69.8%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	2	22.2%	7	38.9%	12	44.4%	17	34.7%	19	35.8%	17	24.6%	74	32.9%
③ 病院などの医療機関。	1	11.1%	2	11.1%	3	11.1%	7	14.3%	3	5.7%	6	8.7%	22	9.8%
④ 家族など身近な人。	2	22.2%	4	22.2%	5	18.5%	17	34.7%	13	24.5%	19	27.5%	60	26.7%
⑤ その他 (0	0.0%	3	16.7%	4	14.8%	2	4.1%	5	9.4%	2	2.9%	16	7.1%

4. 【全員】 「かかりつけ医」はいますか？

① いる。 → 下記5. にお進みください。	4	44.4%	3	16.7%	7	25.9%	27	55.1%	45	84.9%	60	87.0%	146	64.9%
② いないがいると思う。	3	33.3%	5	27.8%	12	44.4%	13	26.5%	4	7.5%	6	8.7%	43	19.1%
③ いない。	1	11.1%	10	55.6%	8	29.6%	8	16.3%	4	7.5%	3	4.3%	34	15.1%
④ わからない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	9名	18名	27名	49名	53名	69名	225名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。							
① 身近で何でも相談できる。	1	0	4	13	20	31	69
② 最新の医療技術を熟知している。	0	0	0	1	5	10	16
③ 必要時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0	0	2	6	18	23	49
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0	0	0	3	7	6	16
⑤ 住まいや職場の近所。	1	2	5	18	30	35	91
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0	0	1	13	19	22	55
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0	1	2	8	7	8	26
⑧ その他（	0	0	0	1	2	1	4

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0	2	6	23	42	58	131
② 外科	0	0	1	1	2	3	7
③ 整形外科	0	0	1	1	3	8	13
④ 婦人科	0	0	0	2	1	0	3
⑤ 眼科	2	0	0	1	5	5	13
⑥ 小児科	0	0	0	1	0	1	2
⑦ その他（	0	1	1	5	2	6	15

8. 【全問】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	2	22.2%	0	0.0%	1	3.7%	2	4.1%	4	7.5%	9	13.0%	18	8.0%
② まあ足りている	4	44.4%	8	44.4%	6	22.2%	22	44.9%	34	64.2%	39	56.5%	113	50.2%
③ やや不足している	0	0.0%	4	22.2%	8	29.6%	13	26.5%	10	18.9%	15	21.7%	50	22.2%
④ 不足している	2	22.2%	5	27.8%	10	37.0%	9	18.4%	5	9.4%	4	5.8%	35	15.6%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	9	名	18	名	27	名	49	名	53	名	69	名	225	名
12. 【全員】オンライン診療についてお尋ねします。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
② 受診したことはないが知っている。	6	66.7%	15	83.3%	25	92.6%	43	87.3%	44	83.0%	49	71.0%	182	80.9%
③ 知らない。	3	33.3%	3	16.7%	1	3.7%	5	10.2%	9	17.0%	16	23.2%	37	16.4%

13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせく

ださい。あてはまるものをすべてお答えください。

① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	2	22.2%	5	27.8%	8	29.6%	15	30.6%	14	26.4%	9	13.0%	53	23.6%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	7	77.8%	11	61.1%	12	44.4%	30	61.2%	31	58.5%	32	46.4%	123	54.7%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	1	11.1%	7	38.9%	11	40.7%	21	42.9%	18	34.0%	23	33.3%	81	36.0%
④ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	5	55.6%	5	27.8%	11	40.7%	22	44.9%	19	35.8%	18	26.1%	80	35.6%
⑤ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	3	33.3%	4	22.2%	8	29.6%	19	38.8%	19	35.8%	24	34.8%	77	34.2%
⑥ 電話やSMSなどの設定が簡素化されるとよい。	4	44.4%	6	33.3%	16	59.3%	21	42.9%	16	30.2%	24	34.8%	87	38.7%
⑦ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	2	22.2%	3	16.7%	4	14.8%	7	14.3%	7	13.2%	6	8.7%	29	12.9%
⑧ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	4	44.4%	9	50.0%	9	33.3%	21	42.9%	16	30.2%	22	31.9%	81	36.0%
⑨ 診察時間の選択が更に広がるとよい。	4	44.4%	7	38.9%	5	18.5%	17	34.7%	12	22.6%	22	31.9%	67	29.8%
⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	2	22.2%	4	22.2%	4	14.8%	13	26.5%	9	17.0%	5	7.2%	37	16.4%
⑪ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	3	33.3%	6	33.3%	6	22.2%	15	30.6%	9	17.0%	10	14.5%	49	21.8%
⑫ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	3	33.3%	5	27.8%	9	33.3%	23	46.9%	15	28.3%	12	17.4%	67	29.8%
⑬ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	3	33.3%	7	38.9%	9	33.3%	13	26.5%	14	26.4%	6	8.7%	52	23.1%
⑭ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0	0.0%	4	22.2%	3	11.1%	7	14.3%	10	18.9%	11	15.9%	35	15.6%
⑮ あてはまるものはない	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	1	2.0%	3	5.7%	6	8.7%	12	5.3%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】

1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？

① 大野城市内	7	11	20	39	34	43	154
② 福岡市内	2	7	5	6	9	2	31
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	1	0	3	1	5
④ その他（ ）	0	0	1	4	3	5	13

2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	4	6	16	18	23	19	86
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	5	12	11	28	25	34	115

3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	3	8	6	10	6	33
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	4	4	13	19	20	15	75
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	1	4	9	13	5	32
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	4	3	3	5	15
⑤ その他（ ）	0	0	0	2	1	1	4

4. 【全員】これからの勤務場所を選べると、次のような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

① 自宅および自宅周辺。	6	12	23	44	41	48	174
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	2	0	1	0	3
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。	2	3	2	2	2	2	13
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	1	0	0	0	1
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	1	1	0	1	0	0	3
⑥ その他（ ）	0	2	0	1	6	0	9

5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	2	4	3	3	3	15
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	1	4	6	13	6	6	36
③ 変わらない。	8	12	17	31	41	45	154

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	1	0	2	1	0	4
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	1	2	2	2	2	9
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	1	3	1	1	1	7
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	1	1	2	0	4
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	2	2	4	1	0	9
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	1	2	7	5	6	21
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	1	0	0	0	1	2
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	1	2	2	4	3	2	14
⑤ その他（	0	1	1	2	0	0	4

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	2	5	8	7	10	32
② 変わらない	9	16	22	39	43	46	175

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	3	5	1	6	15
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	5	5	6	9	25
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	1	3	3	11	18
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	3	2	1	6
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	1	2	3	1	5	12
⑥ その他（	0	2	0	0	2	0	4

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？(複数回答可)							
① 業務の間にリラクゼーションができる公園などの施設。	3	5	2	4	10	17	41
② 手帳に調査などができる図書館。	0	4	3	2	7	4	20
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	4	8	15	18	11	21	77
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑にする努力。	3	7	16	24	24	16	90
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	2	5	9	16	21	16	69
⑥ その他 (0	1	3	2	2	1	9

(資料1) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：総計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	225名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	116	51.6%	70	31.1%	17	7.6%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	142	63.1%	56	24.9%	5	2.2%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	82	36.4%	95	42.2%	24	10.7%
④ 夜間休日の対応	69	30.7%	80	35.6%	49	21.8%
⑤ 連携している医療機関	123	54.7%	63	28.0%	13	5.8%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	39	17.3%	82	36.4%	79	35.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	102	45.3%	81	36.0%	19	8.4%

① 29歳以下	9名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	7	77.8%	1	11.1%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	44.4%	4	44.4%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	44.4%	2	22.2%	2	22.2%
④ 夜間休日の対応	6	66.7%	1	11.1%	1	11.1%
⑤ 連携している医療機関	6	66.7%	0	0.0%	2	22.2%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	22.2%	5	55.6%	1	11.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	4	44.4%	4	44.4%	0	0.0%

② 30～39歳	18名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	10	55.6%	4	22.2%	3	16.7%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	10	55.6%	6	33.3%	1	5.6%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	6	33.3%	9	50.0%	2	11.1%
④ 夜間休日の対応	7	38.9%	6	33.3%	4	22.2%
⑤ 連携している医療機関	7	38.9%	9	50.0%	1	5.6%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	11.1%	4	22.2%	11	61.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	12	66.7%	4	22.2%	1	5.6%

③ 40～49歳	27名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	12	44.4%	7	25.9%	3	11.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	15	55.6%	6	22.2%	1	3.7%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	6	22.2%	12	44.4%	4	14.8%
④ 夜間休日の対応	7	25.9%	9	33.3%	6	22.2%
⑤ 連携している医療機関	7	25.9%	13	48.1%	2	7.4%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	11.1%	10	37.0%	9	33.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	10	37.0%	9	33.3%	3	11.1%

④ 50～59歳

49名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	28	57.1%	15	30.6%	3	6.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	34	69.4%	13	26.5%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	21	42.9%	21	42.9%	3	6.1%
④ 夜間休日の対応	18	36.7%	24	49.0%	5	10.2%
⑤ 連携している医療機関	31	63.3%	13	26.5%	2	4.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	7	14.3%	23	46.9%	16	32.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	25	51.0%	17	34.7%	5	10.2%

⑤ 60～69歳

53名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	25	47.2%	19	35.8%	3	5.7%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	36	67.9%	11	20.8%	2	3.8%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	17	32.1%	25	47.2%	6	11.3%
④ 夜間休日の対応	9	17.0%	19	35.8%	18	34.0%
⑤ 連携している医療機関	30	56.6%	14	26.4%	3	5.7%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	9	17.0%	15	28.3%	23	43.4%
⑦ 患者や利用者からの評価	24	45.3%	17	32.1%	7	13.2%

⑥ 70歳以上

69名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	34	49.3%	24	34.8%	5	7.2%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	43	62.3%	16	23.2%	1	1.4%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	28	40.6%	26	37.7%	7	10.1%
④ 夜間休日の対応	22	31.9%	21	30.4%	15	21.7%
⑤ 連携している医療機関	42	60.9%	14	20.3%	3	4.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	16	23.2%	25	36.2%	19	27.5%
⑦ 患者や利用者からの評価	27	39.1%	30	43.5%	3	4.3%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	3名	11名	15名	16名	28名	48名	121名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。							
① 身近で何でも相談できる。	0	0	3	2	11	19	35
② 最新の医療技術を熟知している。	0	0	0	0	2	8	10
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0	0	1	1	10	17	29
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0	0	0	0	3	6	9
⑤ 住まいや職場の近所。	1	0	4	2	17	23	47
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0	0	1	4	8	15	28
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0	1	1	1	5	7	15
⑧ その他（	0	0	0	0	0	1	1

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	1	1	5	5	21	38	71
② 外科	0	0	1	0	2	2	5
③ 整形外科	0	0	0	0	3	4	7
④ 婦人科	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 眼科	0	0	0	0	3	2	5
⑥ 小児科	0	0	0	0	0	1	1
⑦ その他（	0	0	0	0	2	4	6

8. 【全問】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	2	7.1%	7	14.6%	11	9.1%
② まあ足りている	3	100.0%	4	36.4%	3	20.0%	7	43.8%	18	64.3%	25	52.1%
③ やや不足している	0	0.0%	3	27.3%	4	26.7%	4	25.0%	5	17.9%	11	22.9%
④ 不足している	0	0.0%	3	27.3%	6	40.0%	3	18.8%	3	10.7%	4	8.3%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	3 名	11 名	15 名	16 名	28 名	48 名	121 名
12. 【全国】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。							
① 受診したことがある。	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
② 受診したことはないが知っている。	2 66.7%	8 72.7%	14 93.3%	13 81.3%	21 75.0%	37 77.1%	95 78.5%
③ 知らない。	1 33.3%	3 27.3%	1 6.7%	3 18.8%	7 25.0%	10 20.8%	25 20.7%

13. 【全国】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。

① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	1 33.3%	2 18.2%	6 40.0%	4 25.0%	8 28.6%	8 16.7%	29 24.0%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	3 100.0%	5 45.5%	6 40.0%	8 50.0%	17 60.7%	24 50.0%	63 52.1%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	1 33.3%	4 36.4%	6 40.0%	7 43.8%	10 35.7%	17 35.4%	45 37.2%
④ 診察できる医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	3 100.0%	4 36.4%	6 40.0%	5 31.3%	14 50.0%	14 29.2%	46 38.0%
⑤ 対応する医師がさらに増え柔軟になるとよい。	1 33.3%	3 27.3%	7 46.7%	6 37.5%	10 35.7%	11 22.9%	38 31.4%
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	1 33.3%	2 18.2%	5 33.3%	6 37.5%	8 28.6%	17 35.4%	39 32.2%
⑦ 電話やSMSなどの設定が簡素化されるとよい。	1 33.3%	5 45.5%	8 53.3%	7 43.8%	10 35.7%	18 37.5%	49 40.5%
⑧ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	1 33.3%	2 18.2%	2 13.3%	1 6.3%	4 14.3%	4 8.3%	14 11.6%
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	2 66.7%	5 45.5%	5 33.3%	5 31.3%	8 28.6%	17 35.4%	42 34.7%
⑩ 診察時間の選択が更に広がるとよい。	1 33.3%	3 27.3%	3 20.0%	4 25.0%	6 21.4%	15 31.3%	32 26.4%
⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	0 0.0%	2 18.2%	1 6.7%	5 31.3%	4 14.3%	3 6.3%	15 12.4%
⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	1 33.3%	2 18.2%	2 13.3%	2 12.5%	4 14.3%	6 12.5%	17 14.0%
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	1 33.3%	1 9.1%	3 20.0%	6 37.5%	7 25.0%	8 16.7%	26 21.5%
⑭ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	1 33.3%	3 27.3%	4 26.7%	2 12.5%	8 28.6%	4 8.3%	22 18.2%
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0 0.0%	2 18.2%	2 13.3%	0 0.0%	5 17.9%	9 18.8%	18 14.9%
⑯ あてはまるものはない	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	2 7.1%	3 6.3%	6 5.0%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】

1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？

① 大野城市内	2	6	10	12	20	34	84
② 福岡市内	1	5	4	5	7	1	23
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	0	0	0	0	0
④ その他（ ）	0	0	1	1	1	4	7

2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	3	3	9	9	14	10	48
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	0	8	6	7	12	29	62

3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	2	7	3	7	2	21
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	3	1	6	9	13	10	42
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	1	2	4	9	3	19
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	3	2	3	3	11
⑤ その他（ ）	0	0	0	0	1	1	2

4. 【全員】これからの勤務場所を選べると、次のような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

① 自宅および自宅周辺。	2	8	12	14	23	36	95
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	2	0	0	0	2
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。	1	2	1	1	0	1	6
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	1	0	0	0	1
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	0	0	0	1	0	0	1
⑥ その他（ ）	0	1	0	0	4	0	5

5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	2	3	3	2	2	12
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	1	1	3	3	4	3	15
③ 変わらない。	2	8	9	10	22	34	85

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	1	0	2	1	0	4
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	1	0	2	1	1	5
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	1	3	1	1	1	7
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	1	1	0	2
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	1	1	0	0	2
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	1	2	4	3	10
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	1	0	1	0	2	0	4
⑤ その他（	0	1	1	1	0	0	3

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	1	2	4	3	5	15
② 変わらない	3	10	13	12	25	36	99

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	2	3	0	1	6
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	2	3	2	5	12
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	2	2	6	10
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	2	2	0	4
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	1	2	1	3	7
⑥ その他（	0	1	0	0	0	0	1

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？(複数回答可)							
① 業務の間にリラクゼーションができる公園などの施設。	0	3	2	3	4	14	26
② 手帳に調査などができる図書館。	0	2	3	1	2	4	12
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	2	6	8	6	6	15	43
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑にする努力。	1	4	8	9	14	9	45
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	1	4	3	4	15	13	40
⑥ その他 (0	0	2	1	0	1	4

(資料2) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：男性合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	121名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	59	48.8%	42	34.7%	11	9.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	75	62.0%	30	24.8%	4	3.3%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	39	32.2%	54	44.6%	16	13.2%
④ 夜間休日の対応	35	28.9%	39	32.2%	33	27.3%
⑤ 連携している医療機関	63	52.1%	37	30.6%	8	6.6%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	15	12.4%	47	38.8%	47	38.8%
⑦ 患者や利用者からの評価	47	38.8%	50	41.3%	11	9.1%

① 29歳以下	3名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%

② 30～39歳	11名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	5	45.5%	2	18.2%	3	27.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	5	45.5%	4	36.4%	1	9.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	36.4%	4	36.4%	2	18.2%
④ 夜間休日の対応	5	45.5%	3	27.3%	2	18.2%
⑤ 連携している医療機関	3	27.3%	7	63.6%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	9.1%	2	18.2%	7	63.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	7	63.6%	2	18.2%	1	9.1%

③ 40～49歳	15名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	5	33.3%	5	33.3%	2	13.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	7	46.7%	4	26.7%	1	6.7%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	20.0%	7	46.7%	2	13.3%
④ 夜間休日の対応	3	20.0%	5	33.3%	4	26.7%
⑤ 連携している医療機関	4	26.7%	7	46.7%	1	6.7%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	6.7%	7	46.7%	4	26.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	20.0%	6	40.0%	3	20.0%

④ 50～59歳

16名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	8	50.0%	6	37.5%	1	6.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	11	68.8%	4	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	7	43.8%	7	43.8%	1	6.3%
④ 夜間休日の対応	6	37.5%	6	37.5%	3	18.8%
⑤ 連携している医療機関	10	62.5%	4	25.0%	1	6.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	18.8%	6	37.5%	6	37.5%
⑦ 患者や利用者からの評価	5	31.3%	8	50.0%	2	12.5%

⑤ 60～69歳

28名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	12	42.9%	11	39.3%	2	7.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	18	64.3%	5	17.9%	2	7.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	5	17.9%	15	53.6%	5	17.9%
④ 夜間休日の対応	5	17.9%	9	32.1%	11	39.3%
⑤ 連携している医療機関	14	50.0%	9	32.1%	2	7.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	7.1%	9	32.1%	14	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	10	35.7%	10	35.7%	4	14.3%

⑥ 70歳以上

48名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	27	56.3%	17	35.4%	3	6.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	32	66.7%	12	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	19	39.6%	19	39.6%	6	12.5%
④ 夜間休日の対応	14	29.2%	16	33.3%	12	25.0%
⑤ 連携している医療機関	31	64.6%	10	20.8%	2	4.2%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	7	14.6%	22	45.8%	15	31.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	21	43.8%	22	45.8%	1	2.1%

(資料3) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：女性合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	5	名	7	名	12	名	33	名	25	名	21	名	103	名

【1. 回答者のデータ】

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

	0	0.0%	2	28.6%	2	16.7%	12	36.4%	12	48.0%	4	19.0%	32	31.1%
① 南地区	0	0.0%	2	28.6%	2	16.7%	12	36.4%	12	48.0%	4	19.0%	32	31.1%
② 中央地区	3	60.0%	3	42.9%	5	41.7%	13	39.4%	9	36.0%	12	57.1%	45	43.7%
③ 東地区	2	40.0%	2	28.6%	3	25.0%	5	15.2%	3	12.0%	2	9.5%	17	16.5%
④ 北地区	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	3	9.1%	1	4.0%	3	14.3%	8	7.8%

※%は全て上記の回収人数に対してのものである。

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 女性	5	100.0%	7	100.0%	12	100.0%	33	100.0%	25	100.0%	21	100.0%	103	100.0%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	0	0.0%	3	42.9%	9	75.0%	27	81.8%	22	88.0%	21	100.0%	82	79.6%
② 未婚	5	100.0%	4	57.1%	3	25.0%	6	18.2%	3	12.0%	0	0.0%	21	20.4%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	0	0.0%	5	71.4%	5	41.7%	9	27.3%	2	8.0%	0	0.0%	21	20.4%
② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	1	20.0%	2	28.6%	5	41.7%	13	39.4%	10	40.0%	3	14.3%	34	33.0%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	3.0%	2	8.0%	0	0.0%	4	3.9%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.1%	1	4.0%	2	9.5%	5	4.9%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	7	21.2%	5	20.0%	11	52.4%	24	23.3%
⑧ その他	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%	5	20.0%	4	19.0%	11	10.7%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%
② 満足度は高まった。	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	6	18.2%	2	8.0%	2	9.5%	12	11.7%
③ 変わらない。	3	60.0%	3	42.9%	2	16.7%	8	24.2%	11	44.0%	11	52.4%	38	36.9%
④ 満足度は低くなった。	0	0.0%	3	42.9%	7	58.3%	17	51.5%	12	48.0%	6	28.6%	45	43.7%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	1	14.3%	1	8.3%	2	6.1%	0	0.0%	2	9.5%	6	5.8%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計
	5	名	7	名	12	名	33	名	25	名	21	名	

【1. 医療情報の入手方法：医療サービスの提供者としての立場】

1. 【全員】コロナ禍において医療情報の提供は十分と感じましたか？

① 十分であった。	3	60.0%	4	57.1%	5	41.7%	12	36.4%	13	52.0%	11	52.4%	48	46.6%
② 十分ではなかった。→ 下記2.にお進みください。	2	40.0%	3	42.9%	7	58.3%	20	60.6%	12	48.0%	9	42.9%	53	51.5%

2. 上記1.の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？(複数回答可)

① 感染者数の推移。	0		1		0		2		0		1		4
② 受け入れ可能な医療機関。	1		1		5		17		9		6		39
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	0		1		0		4		4		3		12
④ 感染を防ぐための手段。	0		1		1		2		3		5		12
⑤ その他()	0		1		1		3		1		1		7

3. 【全員】医療情報の入手手段として次のどのルートが多かったですか？(複数回答可)

① テレビや新聞などの大手マスコミ。	3	60.0%	5	71.4%	7	58.3%	16	48.5%	20	80.0%	19	90.5%	70	68.0%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	2	40.0%	2	28.6%	7	58.3%	14	42.4%	8	32.0%	2	9.5%	35	34.0%
③ 病院などの医療機関。	0	0.0%	2	28.6%	3	25.0%	4	12.1%	2	8.0%	0	0.0%	11	10.7%
④ 家族など身近な人。	1	20.0%	1	14.3%	2	16.7%	16	48.5%	8	32.0%	5	23.8%	33	32.0%
⑤ その他()	0	0.0%	1	14.3%	2	16.7%	1	3.0%	3	12.0%	0	0.0%	7	6.8%

4. 【全員】「かかりつけ医」はいますか？

① いる。→ 下記5.にお進みください。	3	60.0%	2	28.6%	2	16.7%	21	63.6%	21	84.0%	20	95.2%	69	67.0%
② いないがいるとよいと思う。	2	40.0%	3	42.9%	8	66.7%	8	24.2%	3	12.0%	0	0.0%	24	23.3%
③ いない。	0	0.0%	2	28.6%	2	16.7%	3	9.1%	1	4.0%	1	4.8%	9	8.7%
④ わからない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	5名	7名	12名	33名	25名	21名	103名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。							
① 身近で何でも相談できる。	1	0	1	11	9	12	34
② 最新の医療技術を熟知している。	0	0	0	1	3	2	6
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0	0	1	5	8	6	20
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0	0	0	3	4	0	7
⑤ 住まいや職場の近所。	2	2	1	16	13	12	46
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0	0	0	9	11	7	27
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0	0	1	7	2	1	11
⑧ その他（	0	0	0	1	2	0	3

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	1	1	1	18	21	20	62
② 外科	0	0	0	1	0	1	2
③ 整形外科	0	0	1	1	0	4	6
④ 婦人科	0	0	0	2	1	0	3
⑤ 眼科	0	0	0	1	2	3	6
⑥ 小児科	2	0	0	1	0	0	3
⑦ その他（	1	1	1	5	0	2	10

8. 【全問】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%	2	8.0%	2	9.5%	7	6.8%
② まあ足りている	1	20.0%	4	57.1%	3	25.0%	15	45.5%	16	64.0%	14	66.7%	53	51.5%
③ やや不足している	0	0.0%	1	14.3%	4	33.3%	9	27.3%	5	20.0%	4	19.0%	23	22.3%
④ 不足している	1	20.0%	2	28.6%	4	33.3%	6	18.2%	2	8.0%	0	0.0%	15	14.6%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	5	名	7	名	12	名	33	名	25	名	21	名	103	名
12. 【全国】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをお答えください。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%
② 受診したことはないが知っている。	4	80.0%	7	100.0%	11	91.7%	30	90.0%	23	92.0%	12	57.1%	87	84.5%
③ 知らない。	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.1%	2	8.0%	6	28.6%	11	10.7%
13. 【全国】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをお答えください。														
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	1	20.0%	3	42.9%	2	16.7%	11	33.9%	6	24.0%	1	4.8%	24	23.3%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	3	60.0%	6	85.7%	6	50.0%	22	66.7%	14	56.0%	8	38.1%	59	57.3%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0	0.0%	3	42.9%	5	41.7%	14	42.4%	8	32.0%	6	28.6%	36	35.0%
④ 診察できる医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	1	20.0%	1	14.3%	5	41.7%	17	51.5%	5	20.0%	4	19.0%	33	32.0%
⑤ 対応する医師がさらに増え柔軟になるとよい。	2	40.0%	2	28.6%	3	25.0%	16	48.5%	10	40.0%	2	9.5%	35	34.0%
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	1	20.0%	2	28.6%	3	25.0%	13	39.4%	11	44.0%	7	33.3%	37	35.9%
⑦ 電話やSMSなどの設定が簡素化されるとよい。	2	40.0%	1	14.3%	8	66.7%	14	42.4%	6	24.0%	6	28.6%	37	35.9%
⑧ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0.0%	1	14.3%	2	16.7%	6	18.2%	3	12.0%	2	9.5%	14	13.6%
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	1	20.0%	4	57.1%	4	33.3%	16	48.5%	8	32.0%	5	23.8%	38	36.9%
⑩ 診察時間の選択が更に広がるとよい。	2	40.0%	4	57.1%	2	16.7%	13	39.4%	6	24.0%	7	33.3%	34	33.0%
⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	1	20.0%	2	28.6%	3	25.0%	8	24.2%	5	20.0%	2	9.5%	21	20.4%
⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	1	20.0%	4	57.1%	4	33.3%	13	39.4%	5	20.0%	4	19.0%	31	30.1%
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	1	20.0%	4	57.1%	6	50.0%	17	51.5%	8	32.0%	4	19.0%	40	38.8%
⑭ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	1	20.0%	4	57.1%	5	41.7%	11	33.3%	6	24.0%	2	9.5%	29	28.2%
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0	0.0%	2	28.6%	1	8.3%	7	21.2%	5	20.0%	2	9.5%	17	16.5%
⑯ あてはまるものはない	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	3.0%	1	4.0%	3	14.3%	6	5.8%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】

1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？

① 大野城市内	4	5	10	27	14	9	69
② 福岡市内	1	2	1	1	2	1	8
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	1	0	3	1	5
④ その他（ ）	0	0	0	3	2	1	6

2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	1	3	7	9	9	9	38
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	4	4	5	21	13	5	52

3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	1	1	3	3	4	12
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	1	3	7	10	7	5	33
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	0	2	5	4	2	13
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	1	1	0	2	4
⑤ その他（ ）	0	0	0	2	0	0	2

4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

① 自宅および自宅周辺。	4	4	11	30	18	12	79
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	0	0	1	0	1
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。	1	1	1	1	2	1	7
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	0	1	0	0	0	0	1
⑥ その他（ ）	0	1	0	1	2	0	4

5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	0	1	3	1	1	6
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	0	3	3	13	2	3	24
③ 変わらない。	5	4	8	31	19	11	78

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	0	0	2	0	0	2
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	2	2	1	1	6
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	1	0	0	1
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	1	1	1	0	3
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	2	1	4	1	0	8
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	1	1	7	1	3	13
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	1	0	0	0	1	2
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	2	1	4	1	2	10
⑤ その他（	0	0	0	2	0	0	2

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	1	3	8	4	5	21
② 変わらない	5	6	9	39	18	10	87

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	1	5	1	5	12
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	3	5	4	4	16
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	1	3	1	5	10
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	3	0	1	4
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	1	1	3	0	2	7
⑥ その他（	0	1	0	0	2	0	3

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？(複数回答可)							
① 業務の間にリフレッシュできる公園などの施設。	3	2	0	4	6	3	18
② 手帳に調査などができる図書館。	0	2	0	2	5	0	9
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	1	2	7	18	5	6	39
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑にする努力。	1	3	8	24	10	7	53
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	1	6	16	6	3	32
⑥ その他 (0	1	1	2	2	0	6

(資料3) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：女性合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	103名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	56	54.4%	28	27.2%	6	5.8%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	66	64.1%	26	25.2%	1	1.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	42	40.8%	41	39.8%	8	7.8%
④ 夜間休日の対応	33	32.0%	41	39.8%	16	15.5%
⑤ 連携している医療機関	59	57.3%	26	25.2%	5	4.9%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	23	22.3%	35	34.0%	32	31.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	54	52.4%	31	30.1%	8	7.8%

① 29歳以下	5名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	80.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	20.0%	3	60.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	40.0%	0	0.0%	2	40.0%
④ 夜間休日の対応	3	60.0%	1	20.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	4	80.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	0	0.0%	4	80.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	40.0%	2	40.0%	0	0.0%

② 30～39歳	7名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	28.6%	5	71.4%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	28.6%	3	42.9%	2	28.6%
⑤ 連携している医療機関	4	57.1%	2	28.6%	1	14.3%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	1	14.3%	2	28.6%	4	57.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%

③ 40～49歳	12名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	7	58.3%	2	16.7%	1	8.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	8	66.7%	2	16.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	25.0%	5	41.7%	2	16.7%
④ 夜間休日の対応	4	33.3%	4	33.3%	2	16.7%
⑤ 連携している医療機関	3	25.0%	6	50.0%	1	8.3%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	2	16.7%	3	25.0%	5	41.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	7	58.3%	3	25.0%	0	0.0%

④ 50～59歳

33名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	20	60.6%	9	27.3%	2	6.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	23	69.7%	9	27.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	14	42.4%	14	42.4%	2	6.1%
④ 夜間休日の対応	12	36.4%	18	54.5%	2	6.1%
⑤ 連携している医療機関	21	63.6%	9	27.3%	1	3.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	4	12.1%	17	51.5%	10	30.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	20	60.6%	9	27.3%	3	9.1%

⑤ 60～69歳

25名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	13	52.0%	8	32.0%	1	4.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	18	72.0%	6	24.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	12	48.0%	10	40.0%	1	4.0%
④ 夜間休日の対応	4	16.0%	10	40.0%	7	28.0%
⑤ 連携している医療機関	16	64.0%	5	20.0%	1	4.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	7	28.0%	6	24.0%	9	36.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	14	56.0%	7	28.0%	3	12.0%

⑥ 70歳以上

21名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	7	33.3%	7	33.3%	2	9.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	11	52.4%	4	19.0%	1	4.8%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	9	42.9%	7	33.3%	1	4.8%
④ 夜間休日の対応	8	38.1%	5	23.8%	3	14.3%
⑤ 連携している医療機関	11	52.4%	4	19.0%	1	4.8%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	9	42.9%	3	14.3%	4	19.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	6	28.6%	8	38.1%	2	9.5%

(資料4) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：南地区合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	1	名	3	名	2	名	12	名	19	名	15	名	52	名

【1. 回答者のデータ】

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

① 南地区	1	100.0%	3	100.0%	2	100.0%	12	100.0%	19	100.0%	15	100.0%	52	100.0%
② 中央地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ 東地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 北地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※%は全て上記の回収人数に対してのものである。

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	1	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	36.8%	11	73.3%	20	38.5%
② 女性	0	0.0%	2	66.7%	2	100.0%	12	100.0%	12	63.2%	4	26.7%	32	61.5%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	0	0.0%	2	66.7%	2	100.0%	9	75.0%	17	89.5%	15	100.0%	45	86.5%
② 未婚	1	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	3	25.0%	2	10.5%	0	0.0%	7	13.5%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正規模用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	0	0.0%	2	66.7%	2	100.0%	4	33.3%	1	5.3%	1	6.7%	10	19.2%
② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規模用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	41.7%	5	26.3%	2	13.3%	12	23.1%
③ 会社などの役員	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	2	10.5%	0	0.0%	4	7.7%
④ 自営業	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	8.3%	1	5.3%	2	13.3%	5	9.6%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	4	21.1%	7	46.7%	12	23.1%
⑧ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	31.6%	2	13.3%	8	15.4%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 満足度は高まった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%	0	0.0%	3	20.0%	6	11.5%
③ 変わらない。	1	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	11	57.9%	9	60.0%	23	44.2%
④ 満足度は低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	7	58.3%	7	36.8%	3	20.0%	19	36.5%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	16.7%	1	5.3%	0	0.0%	4	7.7%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計
	1	名	3	名	2	名	12	名	19	名	15	名	
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。													
① 身近でも相談できる。	0		0		0		8		10		6		24
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		3		4		7
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		0		0		4		7		6		17
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		2		3		2		7
⑤ 住まいや職場の近所。	0		0		0		9		11		8		28
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0		0		0		2		7		7		16
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		0		0		4		4		4		12
⑧ その他（	0		0		0		1		2		0		3

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0		0		0		10		15		13		38
② 外科	0		0		0		0		1		0		1
③ 整形外科	0		0		0		0		0		1		1
④ 婦人科	0		0		0		1		1		0		2
⑤ 眼科	0		0		0		1		3		0		4
⑥ 小児科	0		0		0		0		0		0		0
⑦ その他（	0		0		0		1		0		2		3

8. 【全問】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	5.3%	1	6.7%	3	5.8%
② まあ足りている	1	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	6	50.0%	13	68.4%	10	66.7%	31	59.6%
③ やや不足している	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	4	33.3%	4	21.1%	3	20.0%	12	23.1%
④ 不足している	0	0.0%	2	66.7%	1	50.0%	1	8.3%	1	5.3%	1	6.7%	6	11.5%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	1	名	3	名	2	名	12	名	19	名	15	名	52	名
12. 【全員】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
② 受診したことはないが知っている。	1	100.0%	3	100.0%	2	100.0%	11	91.7%	15	78.9%	12	80.0%	44	84.6%
③ 知らない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	21.1%	2	13.3%	6	11.5%
13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	41.7%	6	31.6%	4	26.7%	15	28.8%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	1	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	8	66.7%	15	78.9%	6	40.0%	32	61.5%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がることよい。	1	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	7	58.3%	6	31.6%	8	53.3%	24	46.2%
④ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	1	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	7	58.3%	10	52.6%	5	33.3%	24	46.2%
⑤ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	41.7%	10	52.6%	7	46.7%	22	42.3%
⑥ 電話やSMSなどの設定が簡素化されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	4	33.3%	9	47.4%	5	33.3%	19	36.5%
⑦ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	3	15.8%	3	20.0%	9	17.3%
⑧ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	66.7%	8	42.1%	8	53.3%	25	48.1%
⑨ ⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	1	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	9	75.0%	6	31.6%	8	53.3%	25	48.1%
⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	50.0%	4	21.1%	0	0.0%	10	19.2%
② 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	8	66.7%	5	26.3%	2	13.3%	17	32.7%
③ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	0	0.0%	1	33.3%	1	50.0%	6	50.0%	7	36.8%	3	20.0%	18	34.6%
④ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	1	100.0%	1	33.3%	1	50.0%	4	33.3%	5	26.3%	1	6.7%	13	25.0%
⑤ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	5	41.7%	5	26.3%	2	13.3%	13	25.0%
⑥ あてはまるものはない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	1	1.9%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】							
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？							
① 大野城市内	1	3	2	11	11	9	37
② 福岡市内	0	0	0	0	1	0	1
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	0	0	2	0	2
④ その他（ ）	0	0	0	1	3	2	6

2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	1	0	2	5	8	3	19
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	0	3	0	7	9	8	27

3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	0	1	1	2	1	5
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	1	0	2	5	9	3	20
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	0	0	3	5	1	9
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	0	1	0	0	1
⑤ その他（ ）	0	0	0	2	0	0	2

4. 【全員】これからの勤務場所を選べると、次のような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

① 自宅および自宅周辺。	1	2	1	12	14	10	40
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	0	0	1	0	1
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。	0	0	1	0	1	0	2
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	0	1	0	0	0	0	1
⑥ その他（ ）	0	0	0	0	2	0	2

5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	1	0	0	3	0	4
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	0	0	0	4	2	0	6
③ 変わらない。	1	2	2	8	13	12	38

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	0	0	0	0	0	0
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	0	0	0	2	0	2
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	1	0	0	1	0	2
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	0	2	0	2
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	1	1	0	2
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	0	2	1	0	3
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	0	1	1	0	2
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	1	0	2	5	1	9
② 変わらない	1	2	2	10	13	11	39

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	1	1	1	3
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	0	2	4	1	7
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	1	0	3	0	4
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	1	0	0	1
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	0	0	1	1
⑥ その他（	0	2	0	0	0	0	3

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？(複数回答可)							
① 業務の間にリフレッシュできる公園などの施設。	0	0	0	0	5	1	6
② 手帳に調査などができる図書館。	0	0	0	1	4	1	6
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	1	1	5	5	5	17
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑にする努力。	1	1	1	6	7	4	20
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	1	1	5	6	6	19
⑥ その他 (0	0	0	0	2	0	2

(資料4) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：南地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	52名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	28	53.8%	16	30.8%	6	11.5%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	32	61.5%	17	32.7%	2	3.8%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	18	34.6%	28	53.8%	3	5.8%
④ 夜間休日の対応	12	23.1%	23	44.2%	14	26.9%
⑤ 連携している医療機関	33	63.5%	16	30.8%	1	1.9%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	9	17.3%	17	32.7%	23	44.2%
⑦ 患者や利用者からの評価	27	51.9%	21	40.4%	3	5.8%

① 29歳以下	1名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%

② 30～39歳	3名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
⑤ 連携している医療機関	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%

③ 40～49歳	2名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
④ 夜間休日の対応	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%
⑤ 連携している医療機関	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

④ 50～59歳

12名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	8	66.7%	3	25.0%	1	8.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	8	66.7%	4	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	6	50.0%	5	41.7%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	4	33.3%	7	58.3%	1	8.3%
⑤ 連携している医療機関	10	83.3%	2	16.7%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	16.7%	5	41.7%	5	41.7%
⑦ 患者や利用者からの評価	8	66.7%	3	25.0%	1	8.3%

⑤ 60～69歳

19名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	11	57.9%	5	26.3%	1	5.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	12	63.2%	5	26.3%	1	5.3%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	7	36.8%	10	52.6%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	10.5%	9	47.4%	5	26.3%
⑤ 連携している医療機関	11	57.9%	6	31.6%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	10.5%	6	31.6%	8	42.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	10	52.6%	7	36.8%	1	5.3%

⑥ 70歳以上

15名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	7	46.7%	5	33.3%	3	20.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	9	60.0%	5	33.3%	1	6.7%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	5	33.3%	8	53.3%	2	13.3%
④ 夜間休日の対応	4	26.7%	6	40.0%	5	33.3%
⑤ 連携している医療機関	10	66.7%	5	33.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	4	26.7%	5	33.3%	6	40.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	7	46.7%	7	46.7%	1	6.7%

(資料5) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：中央地区合計

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計
	6	名	9	名	11	名	20	名	19	名	27	名	92

【1. 回答者のデータ】

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
① 南地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 中央地区	6	100.0%	9	100.0%	11	100.0%	20	100.0%	19	100.0%	27	100.0%	92	100.0%
③ 東地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 北地区	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※は全て上記の回収人数に対してのものである。

3. 【全員】性別をお答えください。

① 男性	2	33.3%	6	66.7%	6	54.5%	7	35.0%	10	52.6%	15	55.6%	46	50.0%
② 女性	3	50.0%	3	33.3%	5	45.5%	13	65.0%	9	47.4%	12	44.4%	45	48.9%

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

① 既婚	0	0.0%	6	66.7%	8	72.7%	17	85.0%	16	84.2%	27	100.0%	74	80.4%
② 未婚	6	100.0%	3	33.3%	3	27.3%	3	15.0%	3	15.8%	0	0.0%	18	19.6%

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

① 正規雇用 (労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	0	0.0%	8	88.9%	2	18.2%	5	25.0%	2	10.5%	1	3.7%	18	19.6%
② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	1	16.7%	1	11.1%	2	18.2%	5	25.0%	7	36.8%	4	14.8%	20	21.7%
③ 会社などの役員	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	1	5.0%	3	15.8%	0	0.0%	6	6.5%
④ 自営業	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%	6	30.0%	2	10.5%	3	11.1%	14	15.2%
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 学生 (高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	5	83.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.4%
⑦ 無職	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	3	15.0%	0	0.0%	6	22.2%	10	10.9%
⑧ その他 ()	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	5	26.3%	12	44.4%	18	19.6%

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

① 満足度は著しく高まった。	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%
② 満足度は高まった。	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%	2	10.0%	2	10.5%	2	7.4%	8	8.7%
③ 変わらない。	3	50.0%	5	55.6%	4	36.4%	12	60.0%	6	31.6%	14	51.9%	44	47.8%
④ 満足度は低くなった。	1	16.7%	4	44.4%	5	45.5%	5	25.0%	11	57.9%	7	25.9%	33	35.9%
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	4	14.8%	5	5.4%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	6	名	9	名	11	名	20	名	19	名	27	名	92	名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。														
① 身近で何でも相談できる。	1		0		2		13		3		12		31	
② 最新の医療技術を熟知している。	0		0		0		0		1		3		4	
③ 必要時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0		0		1		0		4		9		14	
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0		0		0		0		1		4		5	
⑤ 住まいや職場の近所。	2		1		1		3		10		12		29	
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0		0		1		6		8		7		22	
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0		0		2		2		2		1		7	
⑧ その他（	0		0		0		0		0		0		0	

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。														
① 内科	1		0		2		5		13		24		45	
② 外科	0		0		0		0		1		1		2	
③ 整形外科	0		0		0		0		2		2		4	
④ 婦人科	0		0		0		1		0		0		1	
⑤ 眼科	0		0		0		0		2		2		4	
⑥ 小児科	2		0		0		0		0		1		3	
⑦ その他（	0		1		1		3		2		0		7	

8. 【全問】 かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。														
① 足りている	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	4	14.8%	7	7.6%
② まあ足りている	3	50.0%	5	55.6%	2	18.2%	9	45.0%	11	57.9%	14	51.9%	44	47.8%
③ やや不足している	0	0.0%	2	22.2%	5	45.5%	4	20.0%	5	26.3%	7	25.9%	23	25.0%
④ 不足している	1	16.7%	2	22.2%	4	36.4%	7	35.0%	2	10.5%	2	7.4%	18	19.6%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	6 名	9 名	11 名	20 名	19 名	27 名	92 名
12. 【全員】オンライン診療についてお聞かせください。あてはまるものをお答えください。							
① 受診したことがある。	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
② 受診したことはないが知っている。	4 66.7%	7 77.8%	10 90.9%	17 85.0%	17 89.5%	18 66.7%	73 79.3%
③ 知らない。	2 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	3 15.0%	2 10.5%	8 29.6%	17 18.5%

13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。

① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	2 33.3%	2 22.2%	3 27.3%	5 25.0%	3 15.8%	1 3.7%	16 17.4%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	5 83.3%	5 55.6%	6 54.5%	13 65.0%	11 57.9%	14 51.9%	54 58.7%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。	0 0.0%	3 33.3%	7 63.6%	7 35.0%	7 36.8%	8 29.6%	32 34.8%
④ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	1 16.7%	3 33.3%	5 45.5%	9 45.0%	6 31.6%	4 14.8%	28 30.4%
⑤ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	2 33.3%	2 22.2%	5 45.5%	8 40.0%	3 15.8%	9 33.3%	29 31.5%
⑥ 電話やSMSなどの設定が簡素化されるとよい。	3 50.0%	3 33.3%	9 81.8%	9 45.0%	5 26.3%	9 33.3%	38 41.3%
⑦ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	1 16.7%	0 0.0%	2 18.2%	3 15.0%	3 15.8%	2 7.4%	11 12.0%
⑧ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	2 33.3%	6 66.7%	6 54.5%	7 35.0%	6 31.6%	9 33.3%	36 39.1%
⑨ 診察時間の選択が更に広がるとよい。	2 33.3%	4 44.4%	4 36.4%	5 25.0%	4 21.1%	6 22.2%	25 27.2%
⑩ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	1 16.7%	4 44.4%	2 18.2%	5 25.0%	2 10.5%	3 11.1%	17 18.5%
⑪ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	2 33.3%	4 44.4%	1 9.1%	5 25.0%	3 15.8%	5 18.5%	20 21.7%
⑫ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	3 50.0%	4 44.4%	3 27.3%	11 55.0%	6 31.6%	5 18.5%	32 34.8%
⑬ 支払いや決済の選択が更に広がるとよい。	1 16.7%	5 55.6%	4 36.4%	5 25.0%	7 36.8%	3 11.1%	25 27.2%
⑭ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0 0.0%	2 22.2%	2 18.2%	2 10.0%	3 15.8%	5 18.5%	14 15.2%
⑮ あてはまるものはない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	3 11.1%	4 4.3%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】

1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？

① 大野城市内	4	5	6	16	14	19	64
② 福岡市内	2	4	3	3	4	2	18
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	1	0	1	0	2
④ その他（ ）	0	0	1	2	0	0	3

2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	2	5	5	4	8	10	34
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	4	4	6	14	11	13	52

3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	2	3	3	4	4	16
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	2	4	4	4	5	9	28
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	1	1	2	4	2	10
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	0	1	0	4	5
⑤ その他（ ）	0	0	0	0	1	0	1

4. 【全員】これからの勤務場所を選べると、次のような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

① 自宅および自宅周辺。	3	6	10	16	14	20	69
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	1	0	0	0	1
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡市中央区等）。	2	2	0	1	1	1	7
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	1	0	0	1	0	0	2
⑥ その他（ ）	0	1	0	1	3	0	5

5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	0	2	1	0	3	6
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	1	3	1	4	2	5	16
③ 変わらない。	5	6	8	14	17	15	65

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	0	0	0	1	0	1
② 必要なコミュニケーションが無く仕事に集中できた。	0	0	0	1	1	0	2
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	1	1	0	2
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出た。	0	0	0	1	1	0	2
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	2	0	0	1	0	3
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	1	0	0	2	5	10
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	1	0	0	0	1	2
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	1	1	1	1	1	1	6
⑤ その他（	0	1	0	0	0	0	1

8. 【全員】コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	0	4	2	1	7	14
② 変わらない	6	9	7	17	18	17	74

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	2	0	0	4	6
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	4	0	1	5	10
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	0	0	8	8
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	1	1	1	3
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	2	1	1	3	7
⑥ その他（	0	0	0	0	1	0	1

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？（複数回答可）							
① 業務の間にリフレッシュできる公園などの施設。	3	2	1	3	2	7	18
② 手帳に調査などができる図書館。	0	3	2	1	2	1	9
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	3	3	7	5	3	11	32
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	2	5	9	9	9	8	42
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	2	2	4	8	10	6	32
⑥ その他（	0	1	1	1	0	1	4

(資料5) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：中央地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	92名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	50	54.3%	28	30.4%	7	7.6%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	69	75.0%	14	15.2%	1	1.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	36	39.1%	36	39.1%	12	13.0%
④ 夜間休日の対応	34	37.0%	30	32.6%	18	19.6%
⑤ 連携している医療機関	52	56.5%	25	27.2%	6	6.5%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	21	22.8%	31	33.7%	32	34.8%
⑦ 患者や利用者からの評価	44	47.8%	30	32.6%	9	9.8%

① 29歳以下	6名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	3	50.0%	1	16.7%	2	33.3%
④ 夜間休日の対応	5	83.3%	1	16.7%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	5	83.3%	0	0.0%	1	16.7%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	33.3%	4	66.7%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%

② 30～39歳	9名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	5	55.6%	1	11.1%	3	33.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	6	66.7%	2	22.2%	1	11.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	22.2%	5	55.6%	2	22.2%
④ 夜間休日の対応	4	44.4%	4	44.4%	1	11.1%
⑤ 連携している医療機関	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	11.1%	3	33.3%	5	55.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	8	88.9%	1	11.1%	0	0.0%

③ 40～49歳	11名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	7	63.6%	2	18.2%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	8	72.7%	1	9.1%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	36.4%	5	45.5%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	4	36.4%	2	18.2%	3	27.3%
⑤ 連携している医療機関	3	27.3%	5	45.5%	1	9.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	18.2%	3	27.3%	4	36.4%
⑦ 患者や利用者からの評価	4	36.4%	4	36.4%	1	9.1%

④ 50～59歳

20名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	11	55.0%	7	35.0%	2	10.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	16	80.0%	4	20.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	8	40.0%	10	50.0%	2	10.0%
④ 夜間休日の対応	6	30.0%	12	60.0%	2	10.0%
⑤ 連携している医療機関	12	60.0%	6	30.0%	2	10.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	15.0%	11	55.0%	6	30.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	11	55.0%	6	30.0%	3	15.0%

⑤ 60～69歳

19名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	6	31.6%	9	47.4%	1	5.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	15	78.9%	2	10.5%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	7	36.8%	6	31.6%	4	21.1%
④ 夜間休日の対応	4	21.1%	6	31.6%	6	31.6%
⑤ 連携している医療機関	10	52.6%	4	21.1%	2	10.5%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	4	21.1%	4	21.1%	9	47.4%
⑦ 患者や利用者からの評価	8	42.1%	4	21.1%	4	21.1%

⑥ 70歳以上

27名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	15	55.6%	9	33.3%	1	3.7%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	21	77.8%	2	7.4%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	12	44.4%	9	33.3%	2	7.4%
④ 夜間休日の対応	11	40.7%	5	18.5%	6	22.2%
⑤ 連携している医療機関	17	63.0%	6	22.2%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	9	33.3%	6	22.2%	8	29.6%
⑦ 患者や利用者からの評価	10	37.0%	12	44.4%	1	3.7%

(資料6) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：東地区合計

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2 名	3 名	10 名	9 名	9 名	15 名	48 名
① 南地区	0	0	0	0	0	0	0
② 中央地区	0	0	0	0	0	0	0
③ 東地区	2	3	10	9	9	15	48
④ 北地区	0	0	0	0	0	0	0

※%は全て上記の回収人数に対してのものである。

1. 【全員】お住まいの地区はどちらですか？

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2 名	3 名	10 名	9 名	9 名	15 名	48 名
① 南地区	0	0	0	0	0	0	0
② 中央地区	0	0	0	0	0	0	0
③ 東地区	2	3	10	9	9	15	48
④ 北地区	0	0	0	0	0	0	0

3. 【全員】性別をお答えください。

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2 名	3 名	10 名	9 名	9 名	15 名	48 名
① 男性	0	1	7	4	6	13	31
② 女性	2	2	3	5	3	2	17

4. 【全員】既婚ですか？未婚ですか？

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2 名	3 名	10 名	9 名	9 名	15 名	48 名
① 既婚	0	1	9	8	8	15	41
② 未婚	2	2	1	1	1	0	7

5. 【全員】あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2 名	3 名	10 名	9 名	9 名	15 名	48 名
① 正規雇用 (労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)	0	1	6	2	2	0	10
② 契約社員・嘱託社員・パート・アルバイト等の非正規雇用	1	2	2	2	3	1	11
③ 会社などの役員	0	0	2	1	1	0	4
④ 自営業	0	0	0	1	0	0	1
⑤ 内職・在宅ワーク	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 学生 (高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 無職	0	0	0	2	2	10	14
⑧ その他 ()	1	0	0	1	2	4	8

6. 【全員】コロナ禍の前と後を比較して「全般的な生活の満足度」はどのように変化しましたか？

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2 名	3 名	10 名	9 名	9 名	15 名	48 名
① 満足度は著しく高まった。	0	0	1	0	0	0	1
② 満足度は高まった。	0	0	1	1	3	0	5
③ 変わらない。	2	3	5	5	4	4	25
④ 満足度は低くなった。	0	0	3	3	2	9	17
⑤ 満足度は著しく低くなった。	0	0	0	0	0	0	0

回答人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	2名	3名	10名	9名	9名	15名	48名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。							
① 身近でも相談できる。	0	0	2	4	3	7	16
② 最新の医療技術を熟知している。	0	0	0	1	0	1	2
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0	0	1	2	5	4	12
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0	0	0	1	1	0	2
⑤ 住まいや職場の近所。	1	1	3	5	6	8	24
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0	0	0	3	3	6	12
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0	0	0	2	1	2	5
⑧ その他（	0	0	0	0	0	0	0

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	1	1	3	6	8	12	31
② 外科	0	0	1	1	0	0	2
③ 整形外科	0	0	1	1	1	2	5
④ 婦人科	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 眼科	0	0	0	0	0	2	2
⑥ 小児科	0	0	0	1	0	0	1
⑦ その他（	1	0	0	0	0	2	3

8. 【全問】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	1	10.0%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%	3	6.3%
② まあ足りている	0	0.0%	3	30.0%	5	55.6%	6	66.7%	10	66.7%	27	56.3%
③ やや不足している	0	0.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	11.1%	3	12.5%
④ 不足している	1	50.0%	0	0.0%	3	30.0%	1	11.1%	1	6.7%	7	14.6%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	2	名	3	名	10	名	9	名	9	名	15	名	48	名
12. 【全員】オンライン診療についてお尋ねします。														
① 受診したことがある。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② 受診したことはないが知っている。	1	50.0%	3	100.0%	9	90.0%	8	88.9%	8	88.9%	12	80.0%	41	85.4%
③ 知らない。	1	50.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	11.1%	1	11.1%	2	13.3%	6	12.5%
13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。														
① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。	0	0.0%	3	100.0%	4	40.0%	2	22.2%	3	33.3%	3	20.0%	15	31.3%
② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたため電話やオンラインを活用できるとよい。	1	50.0%	3	100.0%	4	40.0%	5	55.6%	1	11.1%	6	40.0%	20	41.7%
③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がることよい。	0	0.0%	1	33.3%	2	20.0%	5	55.6%	3	33.3%	5	33.3%	16	33.3%
④ 診療できる対象や治療の幅が広がることよい。	1	50.0%	1	33.3%	2	20.0%	4	44.4%	2	22.2%	4	26.7%	14	29.2%
⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。	1	50.0%	2	66.7%	2	20.0%	2	22.2%	2	22.2%	1	6.7%	10	20.8%
⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。	1	50.0%	2	66.7%	2	20.0%	3	33.3%	3	33.3%	3	20.0%	14	29.2%
⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。	1	50.0%	1	33.3%	4	40.0%	6	66.7%	1	11.1%	5	33.3%	18	37.5%
⑧ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。	0	0.0%	2	66.7%	1	10.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.3%
⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。	1	50.0%	2	66.7%	2	20.0%	5	55.6%	1	11.1%	4	26.7%	15	31.3%
⑩ 診察時間の選択が更に広がることよい。	1	50.0%	2	66.7%	0	0.0%	2	22.2%	1	11.1%	2	13.3%	8	16.7%
⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい。	1	50.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	11.1%	2	22.2%	0	0.0%	5	10.4%
⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい。	1	50.0%	1	33.3%	2	20.0%	1	11.1%	1	11.1%	1	6.7%	7	14.6%
⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	3	33.3%	1	11.1%	2	13.3%	10	20.8%
⑭ 支払いや決済の選択が更に広がることよい。	1	50.0%	0	0.0%	3	30.0%	3	33.3%	2	22.2%	1	6.7%	10	20.8%
⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	2	13.3%	3	6.3%
⑯ あてはまるものはない	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	11.1%	2	22.2%	0	0.0%	4	8.3%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立場】

1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？

① 大野城市内	2	2	8	5	7	6	30
② 福岡市内	0	1	2	3	1	0	7
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	0	0	0	1	1
④ その他（ ）	0	0	0	0	0	2	2

2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？

① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	1	0	6	3	3	2	15
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	1	3	4	5	4	6	23

3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	0	4	0	1	1	6
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	1	0	4	4	3	1	13
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	0	2	2	2	2	8
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	3	1	1	0	5
⑤ その他（ ）	0	0	0	0	0	0	0

4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。

① 自宅および自宅周辺。	2	2	8	8	9	8	37
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	1	0	0	0	1
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡中央区等）。	0	1	1	1	0	0	3
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	1	0	0	0	1
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）	0	0	0	0	0	0	0

5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？

① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	0	2	1	0	0	3
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	0	1	3	2	1	0	7
③ 変わらない。	2	2	5	5	7	8	29

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？							
① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	0	0	0	0	0	0
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	0	0	1	0	0	1
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	2	0	0	0	2
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出てきた。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	1	0	0	0	1
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	1	1	1	0	3
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	1	1	1	1	1	5
⑤ その他（	0	0	1	1	1	0	2

8. 【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	1	0	2	0	1	4
② 変わらない	2	2	10	6	8	8	36

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	2	0	1	3
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	0	1	0	3	4
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	2	0	2	4
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	1	0	0	1
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	1	0	1	0	1	3
⑥ その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？ (複数回答可)	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリフレッシュできる公園などの施設。	0	1	1	1	3	5	11
② 手軽に調査などができる図書館。	0	1	1	0	1	0	3
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	1	3	6	3	2	1	16
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	0	1	4	6	4	3	18
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	1	3	2	3	0	9
⑥ その他 (0	0	0	0	0	0	0

(資料6) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：東地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	48名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	25	52.1%	15	31.3%	2	4.2%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	23	47.9%	15	31.3%	2	4.2%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	16	33.3%	18	37.5%	7	14.6%
④ 夜間休日の対応	12	25.0%	20	41.7%	8	16.7%
⑤ 連携している医療機関	20	41.7%	15	31.3%	5	10.4%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	5	10.4%	23	47.9%	13	27.1%
⑦ 患者や利用者からの評価	20	41.7%	19	39.6%	2	4.2%

① 29歳以下	2名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%

② 30～39歳	3名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	2	66.7%	1	33.3%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

③ 40～49歳	10名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	40.0%	3	30.0%	1	10.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	40.0%	3	30.0%	1	10.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	10.0%	4	40.0%	3	30.0%
④ 夜間休日の対応	1	10.0%	6	60.0%	1	10.0%
⑤ 連携している医療機関	1	10.0%	6	60.0%	1	10.0%
⑥ 在宅医療(訪問診療・往診)の実施	0	0.0%	5	50.0%	3	30.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	20.0%	5	50.0%	1	10.0%

④ 50～59歳

9名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	6	66.7%	2	22.2%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	7	77.8%	1	11.1%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	6	66.7%	1	11.1%	1	11.1%
④ 夜間休日の対応	5	55.6%	3	33.3%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	6	66.7%	2	22.2%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	11.1%	5	55.6%	2	22.2%
⑦ 患者や利用者からの評価	4	44.4%	4	44.4%	0	0.0%

⑤ 60～69歳

9名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	4	44.4%	3	33.3%	1	11.1%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	4	44.4%	3	33.3%	1	11.1%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	22.2%	5	55.6%	1	11.1%
④ 夜間休日の対応	2	22.2%	3	33.3%	3	33.3%
⑤ 連携している医療機関	5	55.6%	2	22.2%	1	11.1%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	22.2%	3	33.3%	3	33.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	33.3%	4	44.4%	1	11.1%

⑥ 70歳以上

15名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① かかりつけ医の診療実績	8	53.3%	6	40.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	6	40.0%	6	40.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	4	26.7%	7	46.7%	2	13.3%
④ 夜間休日の対応	3	20.0%	7	46.7%	2	13.3%
⑤ 連携している医療機関	7	46.7%	3	20.0%	2	13.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	2	13.3%	9	60.0%	2	13.3%
⑦ 患者や利用者からの評価	7	46.7%	6	40.0%	0	0.0%

回収人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	0 名	2 名	2 名	7 名	6 名	12 名	29 名

【1. 医療情報の入手方法：医療サービスの需要者としての立場】

1. 【全員】 コロナ禍の中において医療情報の提供は十分と感じましたか？

① 十分であった。	0	2	2	100.0%	6	100.0%	6	50.0%	18	62.1%
② 十分ではなかった。→ 下記2. にお進みください。	0	0	0	0.0%	0	0.0%	5	71.4%	10	34.5%

2. 上記1. の質問で②とお答えの方は、何の情報が必要でしたか？ (複数回答可)

① 感染者数の推移。	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
② 受け入れ可能な医療機関。	0	0	0	3	1	6	10	10	10	10
③ 新型コロナウイルス感染症についての症状。	0	0	0	1	2	1	4	4	4	4
④ 感染を防ぐための手段。	0	0	0	1	0	2	3	3	3	3
⑤ その他 (0	0	0	1	0	0	1	1	1	1

3. 【全員】 医療情報の入手手段として次のどのルートの数が多かったですか？ (複数回答可)

① テレビや新聞などの大手マスコミ。	0	2	100.0%	1	50.0%	3	42.9%	5	83.3%	8	66.7%	19	65.5%
② 厚生労働省や地方公共団体のホームページ・広報。	0	0	0.0%	2	100.0%	2	28.6%	2	33.3%	5	41.7%	11	37.9%
③ 病院などの医療機関。	0	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%
④ 家族など身近な人。	0	1	50.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	33.3%	2	16.7%	6	20.7%
⑤ その他 (0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

4. 【全員】 「かかりつけ医」はいますか？

① いる。→ 下記5. にお進みください。	0	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	6	100.0%	10	83.3%	18	62.1%
② いないがいると思う。	0	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	1	8.3%	3	10.3%
③ いない。	0	0	0.0%	2	100.0%	2	28.6%	0	0.0%	1	8.3%	7	24.1%
④ わからない。	0	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%

回答人数	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
	0名	2名	2名	7名	6名	12名	29名
5. 上記4. の質問で①とお答えの方は、あなたがその医師をかかりつけ医としている理由はなぜですか？次の中からあてはまるものをすべてお答えください。							
① 身近でも相談できる。	0	0	0	0	4	6	10
② 最新の医療技術を熟知している。	0	0	0	0	1	2	3
③ 必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できる。	0	0	0	0	2	4	6
④ 総合的な診療を行う能力を有している。	0	0	0	0	2	0	2
⑤ 住まいや職場の近所。	0	0	0	1	3	7	11
⑥ 現在あるいは以前にかかった病気の主治医。	0	0	0	2	1	2	5
⑦ 自分や家族の病歴などをよく知っている。	0	0	0	0	0	1	1
⑧ その他（	0	0	0	0	0	1	1

6. 上記4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

① 内科	0	0	0	2	6	9	17
② 外科	0	0	0	0	0	2	2
③ 整形外科	0	0	0	0	0	3	3
④ 婦人科	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 眼科	0	0	0	0	0	1	1
⑥ 小児科	0	0	0	0	0	0	0
⑦ その他（	0	0	0	1	0	2	3

8. 【全問】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

① 足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	4	33.3%	5	17.2%
② まあ足りている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	4	66.7%	11	37.9%
③ やや不足している	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	5	71.4%	0	0.0%	9	31.0%
④ 不足している	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	16.7%	3	10.3%

回収人数	① 29歳以下		② 30～39歳		③ 40～49歳		④ 50～59歳		⑤ 60～69歳		⑥ 70歳以上		合計	
	0	名	2	名	2	名	7	名	6	名	12	名	29	名
12. 【全員】	オンライン診療についてお尋ねします。													
①	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
②	0	0.0%	2	100.0%	2	100.0%	7	100.0%	4	66.7%	7	58.3%	22	75.9%
③	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	4	33.3%	6	20.7%

13. 【全員】 オンライン診療についての期待についてお聞かせく

①	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	3	42.9%	2	33.3%	1	8.3%	7	24.1%
②	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	4	57.1%	4	66.7%	6	50.0%	16	55.2%
③	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	2	28.6%	2	33.3%	2	16.7%	8	27.6%
④	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	3	42.9%	3	50.0%	3	25.0%	11	37.9%
⑤	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	1	14.3%	2	33.3%	3	25.0%	8	27.6%
⑥	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	3	50.0%	5	41.7%	11	37.9%
⑦	0	0.0%	2	100.0%	1	50.0%	2	28.6%	1	16.7%	5	41.7%	11	37.9%
⑧	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	16.7%	1	8.3%	4	13.8%
⑨	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	16.7%	1	8.3%	4	13.8%
⑩	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	16.7%	6	50.0%	8	27.6%
⑪	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	16.7%	2	16.7%	4	13.8%
⑫	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	16.7%	4	13.8%
⑬	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	1	16.7%	2	16.7%	6	20.7%
⑭	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	8.3%	3	10.3%
⑮	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	16.7%	4	13.8%
⑯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	2	6.9%

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
【Ⅲ. コロナ後の働き方の変化：労働・サービスの供給者としての立脚】							
1. 【全員】勤務先の所在地はどちらですか？							
① 大野城市内	0	0	2	6	2	9	19
② 福岡市内	0	2	0	0	3	0	5
③ 筑紫地区（大野城市以外）	0	0	0	0	0	0	0
④ その他（ ）	0	0	0	1	0	1	2
2. 【全員】コロナ禍によって「働き方」そのものは変わりましたか？							
① 変わった。 → 下記3. にお進みください。	0	1	1	5	4	4	15
② 変わらない。 → 下記4. にお進みください。	0	1	1	2	1	7	12
3. 上記2. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）							
① 業務のオンライン化・テレワークが進展した。	0	1	0	2	3	0	6
② マスクの着用等、身に着けるもの・衣類関係に変化があった。	0	0	1	5	3	2	11
③ 勤務先の勤務場所のレイアウト等に変化があった。	0	0	0	1	2	0	3
④ 紙媒体の電子化が進んだ。	0	0	0	0	2	1	3
⑤ その他（ ）	0	0	0	0	0	1	1
4. 【全員】これからの勤務場所を選べるとすると、次のどのような環境が良いですか？次の中から1つだけお答えください。							
① 自宅および自宅周辺。	0	1	2	7	4	10	24
② 福岡県内の、より田園地帯（例えば東峰村等）。	0	0	0	0	0	0	0
③ 福岡県内の、より都市部（例えば福岡中央区等）。	0	0	0	0	0	1	1
④ 福岡県以外の、より田園地帯。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 福岡県以外の、より都市部（例えば東京、大阪等）。	0	0	0	0	0	0	0
⑥ その他（ ）	0	1	0	0	1	0	2
5. 【全員】コロナ禍を経て「仕事の満足度」は高まりましたか？							
① 高まった。 → 下記6. にお進みください。	0	1	0	1	0	0	2
② 低くなった。 → 下記7. にお進みください。	0	0	1	3	1	1	6
③ 変わらない。	0	1	1	3	4	10	19

	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
--	---------	----------	----------	----------	----------	---------	----

6. 上記5. で「① 高まった」とお答えの方は、高まった要因は何ですか？

① テレワークの進展で移動時間が短くなり、家族といる時間が増えた。	0	1	0	1	1	0	3
② 必要なコミュニケーションが無くなり仕事に集中できた。	0	1	1	0	0	0	2
③ IT関係のスキルの向上によりより効率的に仕事ができるようになった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 外出に伴う費用等が掛からなくなり、結果として経済的余裕が出てきた。	0	0	0	0	0	0	0
⑤ その他（	0	0	0	0	0	0	0

7. 上記5. で「② 低くなった」とお答えの方は、低くなった要因は何ですか？

① コロナ禍が原因で収入が低くなった。	0	0	0	2	0	0	2
② 顧客との間や会社内で必要なコミュニケーションが取りづらくなった。	0	0	0	2	1	1	4
③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。	0	0	0	0	0	0	0
④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。	0	0	0	1	0	0	1
⑤ その他（	0	0	0	1	0	0	1

8. 【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

① 変わった。 → 下記9. にお進みください。	0	0	0	2	1	1	4
② 変わらない	0	2	2	5	4	10	23

9. 上記8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

① より自分自身のことを重視するようになった。	0	0	0	2	0	0	2
② より家族のことを重視するようになった。	0	0	0	2	1	0	3
③ より地域のことを重視するようになった。	0	0	0	1	0	1	2
④ より会社のことを重視するようになった。	0	0	0	0	1	0	1
⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。	0	0	0	1	0	0	1
⑥ その他（	0	0	0	0	0	0	0

10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事をを行う上で必要と考えることは何ですか？(複数回答可)	① 29歳以下	② 30～39歳	③ 40～49歳	④ 50～59歳	⑤ 60～69歳	⑥ 70歳以上	合計
① 業務の間にリフレッシュできる公園などの施設。	0	2	0	0	0	4	6
② 手帳・調査などができる図書館。	0	0	0	0	0	2	2
③ 身近に利用できる事務所のような設備。	0	1	1	5	1	4	12
④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。	0	0	1	3	4	1	9
⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。	0	1	1	1	2	4	9
⑥ その他 (0	0	1	1	0	0	2

(資料7) 新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査票：北地区合計

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何か？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

合計	29名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	13	44.8%	10	34.5%	2	6.9%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	18	62.1%	9	31.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	11	37.9%	13	44.8%	2	6.9%
④ 夜間休日の対応	10	34.5%	7	24.1%	9	31.0%
⑤ 連携している医療機関	17	58.6%	7	24.1%	1	3.4%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	3	10.3%	11	37.9%	11	37.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	10	34.5%	11	37.9%	5	17.2%

① 29歳以下	0名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

② 30～39歳	2名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤ 連携している医療機関	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%

③ 40～49歳	2名					
	必要だ(ア)		まあ必要だ(イ)		特に必要ない(ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑤ 連携している医療機関	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%

④ 50～59歳

7名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	3	42.9%	3	42.9%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	3	42.9%	4	57.1%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	14.3%	5	71.4%	0	0.0%
④ 夜間休日の対応	3	42.9%	2	28.6%	2	28.6%
⑤ 連携している医療機関	3	42.9%	3	42.9%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	14.3%	2	28.6%	3	42.9%
⑦ 患者や利用者からの評価	2	28.6%	4	57.1%	1	14.3%

⑤ 60～69歳

6名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	5	83.3%	1	16.7%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	1	16.7%	4	66.7%	1	16.7%
④ 夜間休日の対応	1	16.7%	1	16.7%	4	66.7%
⑤ 連携している医療機関	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	16.7%	2	33.3%	3	50.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	50.0%	2	33.3%	1	16.7%

⑥ 70歳以上

12名

	必要だ (ア)		まあ必要だ (イ)		特に必要ない (ウ)	
① かかりつけ医の診療実績	4	33.3%	4	33.3%	1	8.3%
② かかりつけ医が得意としている治療分野	7	58.3%	3	25.0%	0	0.0%
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	7	58.3%	2	16.7%	1	8.3%
④ 夜間休日の対応	4	33.3%	3	25.0%	2	16.7%
⑤ 連携している医療機関	8	66.7%	0	0.0%	1	8.3%
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	1	8.3%	5	41.7%	3	25.0%
⑦ 患者や利用者からの評価	3	25.0%	5	41.7%	1	8.3%

【資料8】 【IV. 5 類移行後の医療システムおよび働き方の変化について】

「【全員】新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5 類」に移行した後に、医療サービスの受け方および働き方を変える予定がありましたら、どのように変更するかお書きください。」という質問に対する回答は下記の通りである。なお、回答の一部は内容を変えない範囲で省略している。

【70 歳以上】

- ① 最多発時の無料予防接種。(男・南地区)
- ② 医療サービスについて 5 類に移行後の情報提供が必要と考える。感染者また濃厚接触者が発生した場合、職場環境をどうするのかその対応が問題であると思う。(男・北地区)
- ③ 移行後勤務時間が多くなり残業が増す。内容的には外に出る時間が多くなる。(男・北地区)
- ④ 5 類に移行した事により、一般市民の感染症に対する対策が非常におそろかになり第9派を誘発すると危惧しています。接客等、人と人との接触には今まで以上に留意した働き方にシフトします。(男・中央地区)
- ⑥ 予防接種、感染時の受診の対応を思案中。(男・中央地区)
- ⑦ 受け方及び働き方を変える予定は今のところ別に無い。(男・南地区)
- ⑧ 現状維持。(男・南地区)
- ⑨ 病院の受け入れ体制をスムーズにお願いしたい。(女・南地区)
- ⑩ 私は仕事をしていませんが、区の仕事を手伝っていますが、いままでよりもやりづらくなったのは大いにあります(区の行事なども)。(女・北地区)
- ⑪ 現在のかかりつけ医は「5 類」に移行した後も医療サービスは変わらないので変える必要はない。(男・東地区)

【60～69 歳】

- ⑫ 症状が出たら感染症だとわかる検査を素早く行って欲しい。(女・南地区)
- ⑬ 個々の細心の注意につきる。(男・中央地区)
- ⑭ 変える予定は特にありません。今回のコロナを教訓として新しい感染症が流行した場合、どのような対応をしなければならぬかを考えていきたいです。(男・南地区)
- ⑮ 必要に応じてすぐにマスクをつける。手洗いを繰り返す。疲れを早く取るため、睡眠をしっかりとする。(男・北地区)
- ⑯ コロナ前にもどるので変えることは考えていない。(男・東地区)
- ⑰ ワクチンが個々の病院で可能になるので受けやすくなる。感染した後の勤務体制を考えるべき。(女・南地区)
- ⑱ 検査が有料であれば検査を控える。(女・中央地区)

【50～59 歳】

- ⑲ 医療機関に行く前に疑しい場合は検査キットで検査する。(女・南地区)
- ⑳ 自宅療養で治すようになる。(女・南地区)
- ㉑ ワクチンが無料の間は家族や職場のために打ち続けるが有料になったら経済的に難しいかも。働き

方は web 系のスキルを上げるために仕事のあとに個人的に勉強に行く。(女・南地区)

②② 昨年夏に罹患しかかりつけ医で診てもらえ、市から物資の援助もあり、安心して療養できました。今後感染した場合もかかりつけ医で診て頂くことはできますし、食品のストックもあるので感染しないように気をつけるだけです。(女・中央地区)

②③ 今まで熱ぐらいで休まずにいた意識が熱や体調不良の場合は必ず休むという意識変化になった事が何より大切なことと感じています。(女・東地区)

②④ 民生委員、児童委員であり高齢者との対面的コミュニケーションは継続の必要性が高い。(女・中央地区)

②⑤ マスクの常時着用はしなくなった。(女・中央地区)

②⑥ 医療逼迫にならないように感染対策は今まで同様に続けるつもり。(女・東地区)

②⑦ マイナンバーカードがもっとスムーズに活用できるようになってもらいたい。(男・北地区)

【40～49 歳】

②⑧ 当面は変わらないと思いますが、社会情勢の変化を見ながら対応していくことになると思います (男・中央地区)

②⑨ むやみに病院に通わず自宅の解熱剤などで対応するなど落ち着いた対応をしていくことが大切なのかな、と思いました。(女・東地区)

③⑩ 自分が体調悪いと感じたらマスクをし他者へうつさないよう心がける。熱が出た場合は無理せず、休みをとる勇気が必要だと感じている。(女・南地区)

③⑪ テレワークを経験し、通勤時間や会社の拘束時間がムダに感じるようになった。その分、子育てに充てられるのにな、と思うので、いずれ在宅で働けるように転職を考えています。(女・中央地区)

【30～39 歳】

③⑫ ひとり法人なので会社の取引先データ等は突然病気で入院しても大丈夫のようにクラウドにアップしている (病床でも扱えるように) どこに居ても働ける環境というのはセキュリティ面とのバランスが大事であり、大企業ほど難しい課題の一つだと思う。(男・南地区)

③⑬ テレワーク出来ない職場なので変化ありません。(男・北地区)

【29 歳以下】

・(回答なし)

以上

令和5年6月

大野城市にお住まいの皆様

新型コロナウイルス後の医療システムおよび働き方のあり方について調査（協力ご依頼）

令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、医療システムや働き方も新しい展開になると予想されます。医療システムに関して5類後は特別対応をやめ、通常医療への移行に踏み出すことになり、検査等自己負担部分が増加することになります。また働き方についてもオフィス出社回帰が指摘されますが、ひとつの働き方として定着してきたテレワークを採用し続ける際の工夫についても検討されることになるはずです。

九州産業大学商学部 浅川哲郎研究室では、「新しい福祉社会」のあり方を念頭に、「新型コロナウイルス後の働き方および医療システムのあり方」について調査・研究しています。特に問題解決の上でネットワーク型の組織および情報公開のあり方に解答を求める点に特徴があると考えております。大野城市は福岡市のベッドタウンであり、大野城市常住者の通勤、通学先は主に福岡市で、福岡市への通勤・通学者は人口の約4割を占め、対して、市内の通勤・通学者は約3割に留まっています。このような環境にある大野城市民が新型コロナウイルス流行後にどのように働き方を変化させたか、またコロナ禍の中で医療情報をどのように入手したか、を調査することは他の同様なベッドタウンの都市の福祉システムの構築にも寄与するものと思料します。つきましては下記の調査票（アンケート）の回答へご協力いただけたら幸いです。

記

1. 調査対象・想定する回答者

福岡県大野城市在住者。

2. 回答締切り

令和5年8月31日。同封の返信用封筒にて返信ください。

3. 調査結果の発表

令和5年11月刊行予定の九州産業大学商学部紀要「商経論叢」にて発表予定です（本学ホームページから閲覧可能です）。

以 上

九州産業大学商学部 浅川哲郎

（メール：asakawa@ip.kyusan-u.ac.jp 電話：092-673-5241）

6. 上記 4. の質問で①とお答えの方は、そのかかりつけ医はどの診療科の医師ですか？あてはまるものをすべてお答えください。

- | | |
|---------|-------|
| ① 内科 | ② 外科 |
| ③ 整形外科 | ④ 婦人科 |
| ⑤ 眼科 | ⑥ 小児科 |
| ⑦ その他 (|) |

7. 【全員】かかりつけ医やかかりつけ医の医療機関に関する情報についてお聞きします。現在、かかりつけ医がいる方は、新たにかかりつけ医を探す場合を想定してお答えください。あなたがかかりつけ医を探す際に、場所、診療時間、スタッフの数以外に、必要な情報は何ですか？①～⑦について、最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお答えください。

		必要だ	まあ必要だ	特に必要ない
① かかりつけ医の診療実績	→	(ア)	(イ)	(ウ)
② かかりつけ医が得意としている治療分野	→	(ア)	(イ)	(ウ)
③ かかりつけ医としてのキャリアや教育	→	(ア)	(イ)	(ウ)
④ 夜間休日の対応	→	(ア)	(イ)	(ウ)
⑤ 連携している医療機関	→	(ア)	(イ)	(ウ)
⑥ 在宅医療（訪問診療・往診）の実施	→	(ア)	(イ)	(ウ)
⑦ 患者や利用者からの評価	→	(ア)	(イ)	(ウ)

8. 【全員】かかりつけ医に関する情報は足りていますか、足りていないですか？次の中から1つだけお答えください。

- ① 足りている ② まあ足りている ③ やや不足している ④ 不足している

9. 【全員】健康なときからかかりつけ医を持つておくために、何があると良いと思いますか？あてはまるものをすべてお答えください。

- ① 自治体からの医療機関情報（広報誌やパンフレットなど）
 ② 自治体からの医療機関情報（自治体のホームページ上）
 ③ 地域の医師会からの医療機関情報（パンフレットなど）
 ④ 地域の医師会からの医療機関情報（医師会のホームページ上）
 ⑤ 地域の医師の話聞く場や講演会など。
 ⑥ その他 (

11. 【全員】あなたは、かかりつけ医にどのような役割や機能を期待しますか？次の中からすべてお答えください。

- ① どんな病気でもまずは診療できること。
 ② あなたの健康管理のための助言や指導を継続的に行うこと。
 ③ 専門医又は専門医療機関への紹介。

- ④ あなたのこれまでの病歴や処方すべて把握していること（一元的に管理）。
- ⑤ 夜間・休日の問い合わせへの対応。
- ⑥ 複数医師の体制（かかりつけ医が不在の時などに連携した別の医師が対応する体制）。
- ⑦ 予防医療（健診・検診）、ワクチン接種などの実施。
- ⑧ 往診や訪問診療などの在宅医療。
- ⑨ 介護サービスへのつなぎ。
- ⑩ 感染症発生時など有事への対応。
- ⑪ 患者に寄り添う親身な対応。
- ⑫ その他（）

12. 【全員】オンライン診療についてお尋ねします。

- ① 受診したことがある。
- ② 受診したことはないが知っている。
- ③ 知らない。

13. 【全員】オンライン診療についての期待についてお聞かせください。あてはまるものをすべてお答えください。

- ① COVID-19が終息するまでは外出自粛が想定されるため自宅での診療ができるとよい。
- ② 病院・クリニックでの院内感染や二次感染を避けたいため電話やオンラインを活用できるとよい。
- ③ 医療機関の負担軽減のためにも電話やオンラインでの活用がさらに広がるとよい。
- ④ 診療できる対象や治療の幅が広がるとよい。
- ⑤ 対応する医師がさらに増えて患者側が選択できるようになるとよい。
- ⑥ 医師の説明や対応が更に分かり易く柔軟になるとよい。
- ⑦ 電話やスマホなどの設定が簡素化されるとよい。
- ⑧ 通信環境（音声・動画など）が改善されるとよい。
- ⑨ 予約や時間変更がスムーズになるとよい。
- ⑩ 診察時間の選択肢が更に広がるとよい。
- ⑪ 1回に処方される薬の量が通院と同じになるとよい
- ⑫ 診察の各種手数料が通院と同じになるとよい
- ⑬ 薬の受け取りが更にスムーズになるとよい。
- ⑭ 支払いや決済の選択肢が更に広がるとよい
- ⑮ 健康管理などの他サービスと一元化されるとよい
- ⑯ あてはまるものはない

- ③ IT関係のスキルが満足できる状況ではなく効率的に仕事ができづらくなった。
- ④ 対人関係の業務で、感染の恐怖があった。
- ⑤ その他 ()

8. 【全員】 コロナ禍によってご自身の「働き甲斐」は変わりましたか？

- ① 変わった。 → 下記 9. にお進みください。
- ② 変わらない

9. 上記 8. で「① 変わった」とお答えの方は、何が変わりましたか？（複数回答可）

- ① より自分自身のことを重視するようになった。
- ② より家族のことを重視するようになった。
- ③ より地域のことを重視するようになった。
- ④ より会社のことを重視するようになった。
- ⑤ より仕事の達成感を重視するようになった。
- ⑥ その他 ()

10. 【全員】 今後、テレワークが進むと仮定して今後の仕事を行う上で必要と考えることは何ですか？
（複数回答可）

- ① 業務の間にリラックスできる公園などの施設。
- ② 手軽に調査などができる図書館。
- ③ 身近に利用できる事務所のような設備。
- ④ 職場の上司や顧客とのコミュニケーションを円滑に図る努力。
- ⑤ 専門的な知識を習得する学習システム。
- ⑥ その他 ()

【IV. 5類移行後の医療システムおよび働き方の変化について】

【全員】 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行した後に、医療サービスの受け方および働き方を変える予定がありましたら、どのように変えるかお書きください。

以 上
ありがとうございました。